

授 業 科 目	理容理論			学科・学年	理容科 修得者
開 講 期	通年	単位数	4	担当者名	金野夏奈・今野亘
授 業 の 概 要	理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	理容技術を学ぶにあたって	理容技術理論を学ぶにあたって
2	2	理容技術の基礎	姿勢・トレーニング
3	2	理 容 用 具	理容と用具・理容用具と衛生
4	2	理 容 用 具	理容刃物・シザーズ
5	2	理 容 用 具	レザー・クリッパー
6	2	理 容 用 具	コーム・ブラシ
7	2	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン
8	2	ヘアデザイン	ヘアスタイル
9	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングを学ぶにあたって、観測法
10	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基本原則
11	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの一般的手順
12	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要①
13	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作
14	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法①
15	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法②
16	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム①
17	2	ヘアカッティング	デザインヘア
18	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム①
19	2	ヘアカッティング	デザインヘアカットの一例
20	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって 種類
21	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングの実際
22	2	ヘアセッティング	レディースヘアのスタイリング
23	2	パーマメントセット	パーマメントウエービング ワインディング①
24	2	パーマメントセット	コールド二浴式 <sup>パ</sup> ーマネントウエーブの一例
25	2	パーマメントセット	アイアニング①
26	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史 色彩の原理
27	2	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と原理
28	2	ヘアカラーリング	染毛剤の安全性と取扱い上の注意

29	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング技術のプロセス
30	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの一例
31	2	シェービング	シェービングを学ぶにあたって
32	2	シェービング	シェービングの要件
33	2	シェービング	シェービングの種類
34	2	シェービング	シェービングの基本技術と要領①
35	2	シェービング	シェービングのプロセス
36	2	シェービング	メンズフェイスシェービング
37	2	シェービング	メンズネックシェービング
38	2	シェービング	メンズフェイスデザイン①
39	2	シェービング	レディースシェービング
40	2	理容エステティック	スキンケア
41	2	理容エステティック	フェイシャルケア
42	2	理容エステティック	ハンドケア
43	2	理容エステティック	フットケア～アロマセラピー
44	2	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって～ヘアクリニックのカウンセリング
45	2	理容クリニック	ヘアケアとスカルプケア
46	2	理容クリニック	毛髪の基礎知識
47	2	理容クリニック	ヘアチェック（毛髪診断）
48	2	理容クリニック	スカルプチェック（頭皮診断）
49	2	理容クリニック	ヘアクリニックの用具～ウィッグ
50	2	シャンプー & リンシング	シャンプーイング
51	2	シャンプー & リンシング	シャンプーイングの方法
52	2	シャンプー & リンシング	シャンプーイングの技法
53	2	シャンプー & リンシング	リンシング
54	2	理容マッサージ	マッサージの意義と効果
55	2	理容マッサージ	ヘッドマッサージの一例
56	2	理容マッサージ	クリニックマッサージの一例
57	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類～ヘアトリートメントの一例
58	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントの種類～正常な頭皮に対する処置
59	2	ま と め	テキストIIの復習・テスト
60	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科	修得者	
開 講 期	通年	単位数	23	担当者名	川村重夫		
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。						
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
月	シャンプー	理容 マッサージ	シェービング及び顔 面処置	カット	専科	その他	備考
4	○	○	○	○			
5	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	理容クリニック
7	○	○	○	○	○	○	カラーリング
8	○	○	○	○	○	○	カラーリング
9	○	○	○	○	○	○	カラーリング
10	○	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
11	○	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
12	○	○	○	○	○	○	ドライヤーセット
1	○	○	○	○		○	ドライヤーセット
2	○	○	○	○		○	ドライヤーセット
3						○	まとめ
合計時数	210	170	70	80	40	120	

授 業 科 目	専門教育	着付け	学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子 鈴木久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い

授 業 科 目	専門教育			アップ	学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	平山恵子	金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする						
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的				
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方				
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)				
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)				
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)				
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)				
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル				
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン				
9	4	編み込みスタイル	かご編み				
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方				
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ				
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ				
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ				
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ				
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル				
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル				
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会				
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会				
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会				
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン				
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン				
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック				
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル				
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル				
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ				
26	4	日 本 髪	日本髪の練習				
27	4	日 本 髪	日本髪の練習				
28	4	日 本 髪	日本髪の練習				
29	4	日 本 髪	日本髪の練習				
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト				

授 業 科 目	専門教育	エステ		学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	鈴木 元子	松本しおり
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する					
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける					
評 価 方 法	実技テストと筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、筆記試験20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1, 2	エステティックとは・生命活動と代謝
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4, 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7, 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9, 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11, 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13, エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレイ①
10	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ①
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ②
12	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②
16	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
17	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
18	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
19	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
20	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
21	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント
26	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
27	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
28	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
29	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
30	4	ボディトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋卓希・菊地恵美	
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

授 業 科 目	専門教育	ネイル	学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	遠藤淳子・小野由羽
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル(初級)に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)
5	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布
12	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート
15	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
19	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適応した技術テスト
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
24	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
27	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・ジェルアート
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート

授 業 科 目	専門教育	カラーリング		学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	白畑亨・川村こずえ	
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ					
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける					
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
5	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
6	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	グ ル ー プ 学 習	トラブルの多いカラーリング検証(毛束学習)
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング(体験入学会)
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
26	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
29	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
30	4	実 技 テ ス ト	サロンワークについて、撮影、写真加工デモ

授 業 科 目	専門教育			メイク	学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	橋浦志帆・櫻井江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果				
2	4	メイクアップ理論	スキンケアの役割 メイクアップの要素				
3	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り				
4	4	ベースメイク	ローション、クリーム、ベース、コンシーラー				
5	4	ポイントメイク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング				
6	4	ナチュラルメイク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ				
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク				
8	4	バリエーションメイク	クールメイク				
9	4	バリエーションメイク	和装メイク				
10	4	バリエーションメイク	韓国人メイク				
11	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク				
12	4	バリエーションメイク	ゴージャスメイク				
13	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト		三善テスト		
14	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク				
15	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク				
16	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク				
17	4	特 殊 メ イ ク	エイジメイク				
18	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク				
19	4	特 殊 メ イ ク	マリリン・モンローメイク				
20	4	特 殊 メ イ ク	オードリー・ヘップバーンメイク				
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	舞妓メイク				
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク				
23	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク				
24	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク				
25	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク				
26	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク				
27	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)				
28	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)				
29	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				
30	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・後藤和幸	
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。					
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティーを向上させ、トータル技術を身につける。					
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。			
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング			
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方			
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習			
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習			
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり			
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習			
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成			
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成			
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成			
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成			
12	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング①			
13	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング②			
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①			
15	4	レイヤー	ロールブラシを使用し、操作方法確認			
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース①			
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース②			
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ①			
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ②			
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①			
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②			
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③			
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④			
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①			
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②			
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める			
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める			
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める			
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める			
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める			

授 業 科 目	専門教育	トータルテクニック		学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋敏樹	川村重夫
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。					
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。					
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする					

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	カラーリング	カラーチャート造り ブリーチ (常温・加温)
2	4	カラーリング	カラーチャート造り アルカリカラーバージョン (アンダーカラー4種)
3	4	カラーリング	カラーチャート造り マニキュアバージョン (アンダーカラー4種)
4	4	カラーリング	塗布の練習
5	4	ワンレングスカット	ワンレングスをカット ハーフアップ評価
6	4	ワンレングスブロー	ブロー アイロン操作
7	4	ロングレイヤー	ロングのレイヤーカット デンマンブラシセット
8	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ
9	4	〃 ショート	レザーカット アイロン仕上げ
10	4	〃	カラー (ブリーチ・ウィービング)
11	4	〃	カラー (アルカリカラー・スライジング)
12	4	レイヤーボブ	レイヤーボブカット セット コンテスト創作
13	4	フェード (刈り上げ)	ジェットモヒカン ソフトモヒカン
14	4	〃	7:3フェード
15	4	アップスタイル	編み込み コーンロウ スタイル造り
16	4	ワンレングスカット	ストレート用に薬液処理
17	4	メンズマッシュフェード	フェードカット セット
18	4	レイヤーボブ	レイヤーボブにブリーチを入れる コンテスト創作
19	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作 実際に薬液処理
20	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ
21	4	レイヤーボブカラー	メンズマッシュ レイヤーボブ カラー コンテスト創作
22	4	ジェンダーレスカット	マッシュ 刈り上げ等
23	4	ツイストパーマ	アルミホイルを使ったパーマ 薬液処理
24	4	ショートレイヤー	ショートのレイヤーカット
25	4	メンズ・レディース創作発表	コンテスト創作 10:30～タイムコンテスト評価
26	4	フリースタイル	ウィッグを観て同じように作成
27	4	〃	カット・カラー調整
28	4	〃	カット・カラー調整
29	4	〃	編み込み・ツンツン練習
30	4	〃	フリーでテスト11:10～12:00評価 まとめ

授 業 科 目	専門教育 まつ毛エクステンション	学科・学年	修得者
開 講 期	前期	単位数	4
		担当者名	星歩 松本しおり
授 業 の 概 要	まつ毛エクステンションの基礎知識と安全に配慮した技術者としての心構えを理解する		
教 育 目 標 (ねらい)	アイリストとして社会で働くうえでの基礎知識と技術を身につける		
評 価 方 法	実技試験と筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技試験60%、筆記試験20%、授業への関心度(課題提出)20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。		

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	理論	序章 まつ毛エクステンションとは
2	4	理論	第1章 まつ毛エクステンションの用具
3	4	理論	第2章 衛生管理
4	4	理論	第3章 保健
5	4	理論	第4章 カウンセリング
6	4	理論	第5章 まつ毛エクステンション技術①
7	4	理論	第5章 まつ毛エクステンション技術②
8	4	理論	理論まとめ・筆記試験
9	4	実習	ワゴンセッティング
10	4	実習	テーピング
11	4	実習	まつ毛のかき分け・ツイザーの使用方法
12	4	実習	エクステンションのつかみ方(バルク・シート)
13	4	実習	グルーの使用方法・ブローアの使用法
14	4	実習	リムービング
15	4	実習	エクステンションの装着練習(Jカール)
16	4	実習	エクステンションの装着練習(Cカール)
17	4	実習	エクステンションの装着練習(Dカール)
18	4	実習	デザインの基礎(キュート)
19	4	実習	デザインの基礎(セクシー)
20	4	実習	デザインの基礎(ゴージャス)
21	4	実習	デザインの応用
22	4	実習	デザインの応用
23	4	実習	デザインの応用
24	4	実習	デザインの応用
25	4	実習	実技まとめ・実技テスト
26	4	実習	テープワーク(相モデル)
27	4	実習	アイシャンプー(相モデル)
28	4	実習	リラクゼーション・アロマ
29	4	実習	リラクゼーション・アロマ
30	4	実習	リラクゼーション・アロマ

授 業 科 目	専門教育	カットII		学科・学年	理容科	修得者
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	筒井雄生・後藤和幸	
授 業 の 概 要	サロンワークに直結した内容を学び、理容師の仕事の魅力を知る。					
教 育 目 標 (ねらい)	現代のトレンドに合った技術の習得、技術の活かし方を学習する。					
評 価 方 法	授業最終日のコンテスト、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。					

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ミディアムレイヤー	カットシステムの理解と実際
2	4	セイルレイヤーカット	カットシステムの理解と実際
3	4	ショートレイヤー	カットシステムの理解と実際
4	4	グラデーションボブ	カットシステムの理解と実際
5	4	グラデーションボブ	カラーリング実施
6	4	ロングレイヤー	トレンドに合わせたスタイルのカットとスタイリング
7	4	グラボブ	仕上げとセット
8	4	システムマッシュレイヤー	トレンドに合わせたミディアムのカットとスタイリング
9	4	スクエアカット	カットシステムの理解と実際
10	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
11	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
12	4	ハーフロング ブロース	カットとぼかし(直し)
13	4	ボブ	トレンドに合わせたボブのカットとスタイリング
14	4	ブロー	カットとぼかし(直し)セット
15	4	ショートボブ	トレンドに合わせたショートボブのカットとスタイリング
16	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
17	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
18	4	ハーフロング ブロース	カットとぼかし(直し)セット
19	4	ブロー	カットとぼかし(直し)セット
20	4	クラシカルカット	カットの実際
21	4	クラシカルカット	カット 仕上げ
22	4	フリースタイル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
23	4	フリースタイル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
24	4	フリースタイル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
25	4	フリースタイル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
26	4	デザインコンテスト	学習してきたことを活かしてデザインカット
27	4	クラシカルバック	カット仕上げ セット
28	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
29	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット(テスト)
30	4	フリーカット	相モデルでの実施

授 業 科 目		衛生管理			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	公衆衛生の概要（1）	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史			
2	2	公衆衛生の概要（2）	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業			
3	2	保 健 （ 1 ）	母子保健			
4	2	保 健 （ 2 ）	成人・高齢者保健①			
5	2	保 健 （ 3 ）	成人・高齢者保健②			
6	2	保 健 （ 4 ）	成人・高齢者保健③・精神保健 練習問題			
7	2	環 境 衛 生 （ 1 ）	環境衛生の概要			
8	2	環 境 衛 生 （ 2 ）	空気環境			
9	2	環 境 衛 生 （ 3 ）	衣服・住居の衛生			
10	2	環 境 衛 生 （ 4 ）	上・下水道と廃棄物 練習問題			
11	2	環 境 衛 生 （ 5 ）	衛生害虫とネズミ 環境保全			
12	2	感染症の総論（1）	感染症発見の歴史 感染症と法律			
13	2	感染症の総論（2）	感染症の分類 練習問題			
14	2	感染症の総論（3）	病原微生物①			
15	2	感染症の総論（4）	病原微生物② 練習問題			
16	2	感染症の総論（5）	感染症の予防①			

17	2	感染症の総論（6）	感染症の予防②
18	2	感染症の総論（7）	感染症の予防③ 練習問題
19	2	感染症の各論（1）	主な感染症①
20	2	感染症の各論（2）	主な感染症②
21	2	感染症の各論（3）	主な感染症③
22	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目		関係法規			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要		理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令			
2	2	衛 生 行 政 の 概 要	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容			
3	2	理容師法・美容師法①	目的、用語の定義			
4	2	理容師法・美容師法②	人（理容師・美容師）に関する規定（1）			
5	2	理容師法・美容師法③	人（理容師・美容師）に関する規定（2）			
6	2	理容師法・美容師法④	人（理容師・美容師）に関する規定（3）			
7	2	試 験 練 習 問 題				
8	1	期 末 考 査	後期1時間			

授 業 科 目		保健			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要		基礎的な人体の構造（仕組み）について学習する。頭頸部を中心に解剖学を、人体を理解するために骨角器系、筋系、神経系、感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系、消化器系に分けて学習する。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)		人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識並びに、現場で役立つ知識を知ることが目標とする。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法		期末試験と提出物（ノート、小テスト）、授業態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学①	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学①			
2	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学②	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②			
3	2	骨 格 器 系 ①	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき			
4	2	骨 格 器 系 ②	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき			
5	2	筋 系 ①	筋の種類とその特徴・主な骨格筋とそのはたらき			
6	2	筋 系 ②	表情筋と表情運動			
7	2	神 経 系	神経系の成り立ち・中枢神経・末梢神経とそのはたらき			
8	2	感 覚 器 系 ①	視覚・聴覚・平衡感覚			
9	2	感 覚 器 系 ②	味覚・嗅覚、皮膚感覚			
10	2	血 液 と 免 疫 系	血液のあらまし・免疫のあらまし・アレルギー			
11	2	循 環 器 系	心臓のあらまし・血液循環の仕組み・血液循環経路・リンパ管系の仕組みと働き			
12	2	呼 吸 器 系 ①	呼吸器系のあらまし・気道			
13	2	呼 吸 器 系 ②	肺の仕組みとガス交換・呼吸運動			
14	2	消 化 器 系 ①	消化器系のあらまし・消化管の仕組み			
15	2	消 化 器 系 ②	消化管の働き・消化と物質代謝			
16	2	ま と め と 復 習	小テストと復習			

17	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
18	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
19	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
20	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
21	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
22	2	期 末 考 査	前期・後期1時間

授 業 科 目		化粧品化学			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要		理容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	香 粧 品 総 論	第1節 化粧品とは	第2節 化粧品と造形	第3節 化粧品の効果と使用プロセス	
2	2	化粧品を使用する際に気をつけるべきこと	第1節 化粧品の使用による症状	第2節 定義と法規制	第3節 安全性と安定性	
3	2	化粧品の成り立ち (1)	第1節 化粧品の成り立ち	第2節 水と親水性溶媒 ①		
4	2	化粧品の成り立ち (2)	第2節 水と親水性溶媒 ②	第3節 油性原料 ①		
5	2	化粧品の成り立ち (3)	第3節 油性原料 ②			
6	2	化粧品の成り立ち (4)	第4節 界面活性剤①			
7	2	化粧品の成り立ち (5)	第4節 界面活性剤②			
8	2	化粧品の成り立ち (6)	第5節 高分子化合物			
9	2	化粧品の成り立ち (7)	第6節 色材①			
10	2	化粧品の成り立ち (8)	第6節 色材②			
11	2	化粧品の成り立ち (9)	第7節 香料			
12	2	化粧品の成り立ち (10)	第8節 製品を安定させる配合原料			
13	2	化粧品の成り立ち (11)	第9節 その他の機能性配合原料			
14	2	化粧品の成り立ち (12)	第10節 雑貨原料			
15	1	期 末 考 査	後期1時間			

授 業 科 目		文化論			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	北野 史
授 業 の 概 要		美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)		美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査60%、プリント達成度20%、授業の関心度20%とし、100点満点に換算し60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	総 論	総論			
2	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業			
3	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業			
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	縄文・弥生・古墳時代			
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	古代（飛鳥・奈良・平安時代）			
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）			
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）			
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）			
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）			
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）			
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）			
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）			
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）			
14	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代Ⅰ			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

授 業 科 目		理容理論			学科・学年	理容科 1年
開 講 期		通年	単位数	2.5	担当者名	金野 夏奈
授 業 の 概 要		理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法		期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	理容技術を学ぶにあたって	理容技術理論を学ぶにあたって			
2	2	理容技術の基礎	姿勢・トレーニング			
3	2	理容用具	理容と用具・理容用具と衛生			
4	2	理容用具	理容刃物・シザーズ			
5	2	理容用具	レザー・クリッパー			
6	2	理容用具	コーム・ブラシ			
7	2	理容用具	ヘアアイロン・ヘアドライヤー			
8	2	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン			
9	2	ヘアデザイン	ヘアスタイル			
10	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングを学ぶにあたって、観測法			
11	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基本原則			
12	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの一般的手順			
13	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要①			
14	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要②			
15	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作			
16	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法①			
17	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法②			
18	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム①			
19	2	ヘアカッティング	スタンダードヘアのスタイル別カットシステム②			
20	2	ヘアカッティング	デザインヘア			
21	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム①			
22	2	ヘアカッティング	デザインヘアのスタイル別カットシステム②			
23	2	ヘアカッティング	デザインヘアカットの一例			
24	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングを学ぶにあたって 種類			
25	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングの実際			
26	2	ヘアセッティング	レディースヘアのスタイリング			
27	2	パーマメントセット	パーマントウェービング ワインディング①			
28	2	パーマメントセット	ワインディング②			
29	2	パーマメントセット	コールド二浴式パーマントウェーブの一例			
30	2	パーマメントセット	アイアニング①			
31	2	パーマメントセット	アイアニング② 形状記憶デジタルパーマ			

32	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの歴史 色彩の原理
33	2	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と原理
34	2	ヘアカラーリング	染毛剤の安全性と取扱い上の注意
35	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング技術のプロセス
36	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリングの一例
37	2	ま と め	総復習、小テスト
38	2	テ ス ト	前期期末試験・後期期末試験

授 業 科 目		運営管理			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	通 年	単 位 数	0.5	担 当 者 名	熊 谷 史 子	
授 業 の 概 要	美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。					
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。					
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	経 営 者 の 視 点	経営とは・経営者とは			
2	2	理 容 業 美 容 業 の 経 営 に つ い て	業界の概念、競争の変化、サービスとしての理美容顧客			
3	2	資 金 の 管 理	収支と損益、会計の考え方、コスト管理、税金			
4	2	人 という 資 源 ①	人という資源とは、人の能力を高める 人をやる気にさせるために			
5	2	人 という 資 源 ②	給与、待遇福利厚生 労働者の権利			
6	2	従 業 員 の 視 点 か ら ①	社会人としての責任 社会保険①			
7	2	試 験 練 習 問 題				
8	1	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

授 業 科 目	理容実習			学科・学年	理容科	1年	
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	金野 夏奈		
授 業 の 概 要	理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。						
教 育 目 標 (ねらい)	理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
月	シャンプー	カット	シェービング及び顔面処置	ワインディング	専科	その他	備考
4		○		○			
5	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	理容マッサージ
7	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
8	○	○	○	○	○		理容クリニック
9	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
10	○	○	○	○	○	○	ヘアトリートメント スカルプトリートメント
11	○	○	○	○	○	○	ヘアセッティング 理容エステティック
12	○	○	○	○	○	○	理容マッサージ
1	○	○	○	○		○	ハンドケア 理容マッサージ
2	○	○	○	○		○	ヘアセッティング 理容マッサージ
3		○	○				まとめ
合計時数	80	80	70	120	40	60	

授 業 科 目	一般教養		デッサン		学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐々木郁実	
授 業 の 概 要	人物をモチーフとしたデッサンを通して観察力と表現力を高める。						
教 育 目 標 (ねらい)	1. 観察やイメージすることに基づいたデッサンの技術を身に着ける。 2. デッサンの技術によって、造形的な表現能力の向上と、美的感性の育成を図る。						
評 価 方 法	授業への関心態度50点、提出作品（イラストボード）30点、提出物（スケッチブック）20点の合計100点満点で評価し、60点以上で合格とする。						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	デッサンの基礎①	線による表現（目隠し描きと重ね書き）				
2	3	デッサンの基礎②	トーンによる表現、12色相環				
3	3	デッサンの基礎③	人体の構造、アイディアの出し方				
4	3	デッサンの基礎④	陰影と立体感				
5	3	人物を描く①	ヘアデザイン画（構図）				
6	3	人物を描く②	ヘアデザイン画（背景）				
7	3	人物を描く③	ヘアデザイン画（全体像の完成）				
8	3	人物を描く④	ヘアデザイン画（着彩）				
9	3	人物を描く⑤	ヘアデザイン画（仕上げ）				
10	3	人物を描く⑥	講評会				

授 業 科 目	一般教養		パーソナルカラー		学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐藤博美	
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける						
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。						
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度30%、課題提出40%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の成り立ち				
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度・彩度)				
3	3	色 の 属 性 体 験 実 習	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(清濁) 体験実習				
4	3	表 色 系 基 本 の 配 色 法	PCCS (色相環とトーン) カラーコーディネート (基本の配色法)				
5	3	基 礎 知 識	色に見える条件 4シーズン分類				
6	3	基 礎 知 識	心理効果 パーソナルカラーのまとめ				
7	3	模 擬 試 験	試験による基礎知識の確認				
8	3	検 定 試 験 対 策	モジュール1 試験対策 パーソナルカラーを基にした課題の作成①				
9	3	検 定 試 験	モジュール1 試験 パーソナルカラーを基にした課題の作成② 提出				
10	3	実 技 試 験	パーソナルカラー診断実習				

授 業 科 目	一般教養      フラワーアレンジメント			学科・学年	理容科      1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。				
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。				
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。		
2	3	実 技	②トライアングュラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明		
3	3	実 技	③水平線 ④母の日ラッピングアレンジ		
4	3	実 技	⑤平行線 ⑥交差      基礎から発展		
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ      ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。		
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ      構成違いのデザイン性、応用。		
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ      パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク		
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ      テクスチャを学ぶ		
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。		
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。      まとめ、自己評価、感想		

授業科目	一般教養	アートワーク		学科・学年	理容科	1年
開講期	前期または後期	単位数	1	担当者名	ヨウル☆プッキ	
授業の概要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得					
教育目標 (ねらい)	『糸と布』でものづくり。 裁・膝・縫・繕・織・絡・編・裂・繻・染					
評価方法	授業への関心態度、提出物を評価する。 授業への関心態度40%、作品内容20%、提出40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	3	オリエンテーション	道具の説明、動作確認			
2	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成			
3	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成			
4	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成			
5	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍			
6	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍			
7	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍			
8	3	ロークラフト	インテリア小物作成			
9	3	ロークラフト	インテリア小物作成			
10	3	ロークラフト	インテリア小物作成			

授 業 科 目	一般教養 3Dネイル			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 授業への関心度40%、課題提出60%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
3	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
4	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
5	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
6	3	エンボスアート	エンボスアート		
7	3	3 D ア ー ト	作品制作		
8	3	3 D ア ー ト	作品制作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	課題提出		

授 業 科 目	一般教養		スタンドグラス		学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	齋藤有紀	
授 業 の 概 要	理容・美容の類似点を意識しながら、正確性を追求した製図やスタンドグラスの制作						
教 育 目 標 (ねらい)	スタンドグラス制作を通し、芸術的探究心を深め、理容美容にも通ずる、センスやオリジナル性の向上、作品を作り上げる達成感から学生たちの自己肯定感を育む。						
評 価 方 法	授業態度、提出物、制作への意欲、作品の完成度。技術評価50%、制作意欲20%、授業態度30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目		内 容			
1	3	スタンドグラスの概要説明 配布物の確認		スタンドグラスの歴史、概要、授業の進め方の説明。 個人への配布物・班ごとの配布物の確認。			
2	3	実	技	工具の説明、ガラスカットの練習。ガラスカット。			
3	3	実	技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
4	3	実	技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
5	3	実	技	カパーテープの巻き方説明、カパーテープ巻き、 はんだごての使い方・はんだ付け			
6	3	実	技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
7	3	実	技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
8	3	実	技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄			
9	3	実	技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄、完成			
10	3	総	括	完成作品の装飾込み発表展示、講評。自己評価、感想・レポート提出			

授 業 科 目	一般教養	ヨガ	学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名 安田里彩
授 業 の 概 要	ヨガを通して心の健康はもとより、心と身体の調和や自律神経の調整を目指していく。日頃から頑張っている自分をたっぷりと褒め、受け止める／認めてあげる時間を過ごし、より美容や利用の分野にフォーカスできる心の環境を整えていく。			
教 育 目 標 (ねらい)	内側から美しい「心と身体」を作る。 「心」「身体」「呼吸」、三位一体になったときに生まれる心の内側の変化、表面的な体の変化を体得する。			
評 価 方 法	授業への関心度、提出物で評価する。授業の関心度60%、提出物（小テスト）40%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	ヨ ガ の 概 要 環 境 活 動 の 概 要	ヨガについて・クラスの進め方・ビギナーヨガ マットや使用物の取り扱いについて
2	3	座 学 ・ 実 践	呼吸×ヨガ（花呼吸/腹式呼吸）
3	3	座 学 ・ 実 践	自律神経×ヨガ（交感神経/副交感神経）
4	3	座 学 ・ 実 践	マインドフルネス×ヨガ（瞑想）
5	3	座 学 ・ 実 践	フローヨガ（呼吸に動きを乗せる）
6	3	座 学 ・ 実 践	筋膜リリース×ヨガ（セルフケア）
7	3	座 学 ・ 実 践	デトックス×ヨガ（不要物の排出）
8	3	座 学 ・ 実 践	骨盤調整×ヨガ（正しい骨格へ）
9	3	座 学 ・ 実 践	伝える×ヨガ（2グループ。真理時間1時間で1つアサナを完成
10	3	座 学 ・ 実 践	オリジナルシザーケースの作成（今後もヨガが生活の中にある

授 業 科 目	一般教養 レザークラフト			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	木戸崇
授 業 の 概 要	革を使用し、いろいろな作品を作成する				
教 育 目 標 (ねらい)	レーザーでいろいろなものを制作しながら創造力や造形技術を身につける				
評 価 方 法	授業への関心度、課題作品の完成度で評価する。 授業の関心度50%、作品の完成度50%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	カードケース作成	レザークラフトの基本となる張り合わせ、穴あけ、縫い、仕上げの練習		
2	3	カービング	好きなデザインを用い、自分の名前をカービングする		
3	3	コインケース	縫いの正確さ、きれいさの追求		
4	3	コインケース	コインケースの仕上げ		
5	3	カードケース	カードケース作成		
6	3	カードケース	カードケース作成		
7	3	ペントレイ	今までの制作技術の復習		
8	3	シザーケース	革の裁断、カービング、縫いなどに注意し、オリジナルのシザーケースの作成		
9	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		
10	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		

授 業 科 目	専門教育	着付け	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子 鈴木久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い

授 業 科 目	専門教育 アップ			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする				
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的		
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方		
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)		
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)		
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)		
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)		
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル		
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン		
9	4	編み込みスタイル	かご編み		
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方		
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル		
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル		
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会		
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック		
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ		
26	4	日 本 髪	日本髪の練習		
27	4	日 本 髪	日本髪の練習		
28	4	日 本 髪	日本髪の練習		
29	4	日 本 髪	日本髪の練習		
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト		

授 業 科 目	専門教育	エステ		学科・学年	理容科 1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	鈴木 元子 松本しおり
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する				
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける				
評 価 方 法	実技テストと筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、筆記試験20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1, 2	エステティックとは・生命活動と代謝
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4, 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7, 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9, 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11, 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13, エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレイ①
10	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ①
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ②
12	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②
16	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
17	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
18	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
19	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
20	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
21	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント
26	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
27	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
28	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
29	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
30	4	ボディトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋卓希・菊地恵美
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

授 業 科 目	専門教育	ネイル	学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ			
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル(初級)に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)
5	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布
12	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート
15	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
19	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適応した技術テスト
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
24	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
27	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・ジェルアート
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート

授 業 科 目	専門教育	カラーリング	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	白畑亨・川村こずえ
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
5	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
6	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	グ ル ー プ 学 習	トラブルの多いカラーリング検証(毛束学習)
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング(体験入学会)
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
26	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
29	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
30	4	実 技 テ ス ト	サロンワークについて、撮影、写真加工デモ

授 業 科 目	専門教育			メイク	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	橋浦志帆・櫻井江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果				
2	4	メイクアップ理論	スキンケアの役割 メイクアップの要素				
3	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り				
4	4	ベースメイク	ローション、クリーム、ベース、コンシーラー				
5	4	ポイントメイク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング				
6	4	ナチュラルメイク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ				
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク				
8	4	バリエーションメイク	クールメイク				
9	4	バリエーションメイク	和装メイク				
10	4	バリエーションメイク	韓国人メイク				
11	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク				
12	4	バリエーションメイク	ゴージャスメイク				
13	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト		三善テスト		
14	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク				
15	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク				
16	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク				
17	4	特 殊 メ イ ク	エイジメイク				
18	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク				
19	4	特 殊 メ イ ク	マリリン・モンローメイク				
20	4	特 殊 メ イ ク	オードリー・ヘップバーンメイク				
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	舞妓メイク				
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク				
23	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク				
24	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク				
25	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク				
26	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク				
27	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)				
28	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)				
29	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				
30	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・後藤和幸
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティーを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング①		
13	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング②		
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レイヤー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		

授 業 科 目	専門教育	トータルテクニック		学科・学年	理容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋敏樹 川村重夫
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。				
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。				
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	カラーリング	カラーチャート造り ブリーチ (常温・加温)
2	4	カラーリング	カラーチャート造り アルカリカラーバージョン (アンダーカラー4種)
3	4	カラーリング	カラーチャート造り マニキュアバージョン (アンダーカラー4種)
4	4	カラーリング	塗布の練習
5	4	ワンレングスカット	ワンレングスをカット ハーフアップ評価
6	4	ワンレングスブロー	ブロー アイロン操作
7	4	ロングレイヤー	ロングのレイヤーカット デンマンブラシセット
8	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ
9	4	〃 ショート	レザーカット アイロン仕上げ
10	4	〃	カラー (ブリーチ・ウィービング)
11	4	〃	カラー (アルカリカラー・スライジング)
12	4	レイヤーボブ	レイヤーボブカット セット コンテスト創作
13	4	フェード (刈り上げ)	ジェットモヒカン ソフトモヒカン
14	4	〃	7:3フェード
15	4	アップスタイル	編み込み コーンロウ スタイル造り
16	4	ワンレングスカット	ストレート用に薬液処理
17	4	メンズマッシュフェード	フェードカット セット
18	4	レイヤーボブ	レイヤーボブにブリーチを入れる コンテスト創作
19	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作 実際に薬液処理
20	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ
21	4	レイヤーボブカラー	メンズマッシュ レイヤーボブ カラー コンテスト創作
22	4	ジェンダーレスカット	マッシュ 刈り上げ等
23	4	ツイストパーマ	アルミホイルを使ったパーマ 薬液処理
24	4	ショートレイヤー	ショートのレイヤーカット
25	4	メンズ・レディース創作発表	コンテスト創作 10:30~タイムコンテスト評価
26	4	フリースタイル	ウィッグを観て同じように作成
27	4	〃	カット・カラー調整
28	4	〃	カット・カラー調整
29	4	〃	編み込み・ツンツン練習
30	4	〃	フリーでテスト11:10~12:00評価 まとめ

授 業 科 目	専門教育			カットⅠ	学科・学年	理容科	1年
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	今野亘		
授 業 の 概 要	基本的な用具の使用方法を理解し、基礎的なスタイルを理解する。スタンダードカット、デザインカットの基本的な技法やカットシステムを確認する。						
教 育 目 標 (ねらい)	カットの基本となるスタイルを習得する。 カットの基礎になる技法や姿勢を身につける。						
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	ブ ロ ッ キ ン グ ～	ブロッキング、用具の使用方法				
2	4	ワ ン レ ン グ ス カ ッ ト	スタイルの理解とシステム確認				
3	4	ワ ン レ ン グ ス カ ッ ト	前回の続きと反復練習				
4	4	ス ク エ ア ー カ ッ ト ①	10ブロッキング～、システム、技法の確認				
5	4	ス ク エ ア ー カ ッ ト ②	前回の続き				
6	4	ス ク エ ア ー カ ッ ト ③	前回のと復習				
7	4	セ イ ム レ イ ヤ ー ①	全体を同じ長さにカットする				
8	4	セ イ ム レ イ ヤ ー ②	前回の続きと確認				
9	4	ス タ ン ダ ー ド カ ッ ト ③	基礎的な技法の理解、姿勢の理解				
10	4	ス タ ン ダ ー ド カ ッ ト ④	連続刈のトレーニング、分髪の理解				
11	4	ス タ ン ダ ー ド カ ッ ト ⑤	カットシステム、姿勢、クリッパーの使用方法				
12	4	ス タ ン ダ ー ド カ ッ ト ⑥	システム通りの練習				
13	4	ス タ ン ダ ー ド カ ッ ト ⑦	ミディアムカット				
14	4	ワ ン レ ン グ ス カ ッ ト	新しいウイッグで復習				
15	4	グ ラ デ ー シ ョ ン カ ッ ト ①	グラデーションの理解、システム確認				
16	4	グ ラ デ ー シ ョ ン カ ッ ト ②	前回の続き				
17	4	グ ラ デ ー シ ョ ン カ ッ ト ③	スタイルの完成と確認				
18	4	セ イ ム レ イ ヤ ー	復習				
19	4	ミ デ ィ ア ム カ ッ ト ①	分髪～システム通りにカット				
20	4	ミ デ ィ ア ム カ ッ ト ②	クリッパーライン、ぼかしの練習				
21	4	ハ ー フ ロ ン グ ①	スタイルの理解とシステム確認				
22	4	ハ ー フ ロ ン グ ②	仕上がりの確認と仕上げ刈の練習				
23	4	レ イ ヤ ー カ ッ ト ①	新しいウイッグでレイヤーカットを理解する				
24	4	レ イ ヤ ー カ ッ ト ②	仕上がりの確認と仕上げ刈の練習				
25	4	自 由 作 品 ①	学んだ技法やスタイル、自分なりにデザインする				
26	4	自 由 作 品 ②	カットを活かしたスタイルの作成				
27	4	自 由 作 品 ③	作品発表				
28	4	ま と め	メンズウイッグを使用し、主にスタンダードカットの復習				
29	4	ま と め	〃				
30	4	ま と め	〃				

授 業 科 目		関係法規			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要		理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	復 習	1年時の復習問題			
2	2	理容師法・美容師法⑤	違反者に対する行政処分			
3	2	理容師法・美容師法 ⑥	罰則			
4	2	関 連 法 規 ①	理容業・美容業に関連する法律①			
5	2	関 連 法 規 ②	理容業・美容業に関連する法律②			
6	2	ま と め と 復 習 ①				
7	2	練 習 問 題				
8	1	期 末 考 査	後期1時間			

授 業 科 目		衛生管理			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	感染症各論（1）	主な感染症①			
2	2	感染症各論（2）	主な感染症② 具体的な対策の例 練習問題			
3	2	消毒法総論（1）	消毒の意味と意義			
4	2	消毒法総論（2）	理容・美容の業務と消毒との関係			
5	2	消毒法総論（3）	消毒法と適用上の注意 練習問題			
6	2	消毒法各論（1）	理学的消毒法			
7	2	消毒法各論（2）	化学的消毒法①			
8	2	消毒法各論（3）	化学的消毒法②			
9	2	消毒法実習（1）	消毒薬の濃度計算①			
10	2	消毒法実習（2）	消毒薬の濃度計算② 練習問題			
11	2	消毒法実習（3）	消毒薬の選び方 練習問題			
12	2	理容所および美容所における衛生管理要領（1）	目的、施設及び設備 練習問題			
13	2	理容所および美容所における衛生管理要領（2）	管理① 練習問題			
14	2	理容所および美容所における衛生管理要領（3）	衛生的取り扱いなど 練習問題			
15	2	理容所および美容所における衛生管理要領（4）	消毒、理・美容所の樹種的管理 練習問題			
16	2	国家試験対策（1）	国家試験の過去の問題を解く			

17	2	国家試験対策（2）	国家試験の過去の問題を解く
18	2	国家試験対策（3）	国家試験の過去の問題を解く
19	2	国家試験対策（4）	国家試験の過去の問題を解く
20	2	国家試験対策（5）	国家試験の過去の問題を解く
21	2	国家試験対策（6）	国家試験の過去の問題を解く
22	2	国家試験対策（7）	国家試験の過去の問題を解く
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目		保健			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要		基礎的な人体の構造（仕組み）について学習する。頭頸部を中心に解剖学を、人体を理解するために骨角器系、筋系、神経系、感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系、消化器系に分けて学習する。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)		人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識並びに、現場で役立つ知識を知ること为目标とする。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法		期末試験と提出物（ノート、小テスト）、授業態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	皮 膚 の 構 造	皮膚の表面、皮膚断面・表皮・真皮、皮下組織			
2	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ①	毛			
3	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ②	脂腺			
4	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ③	汗腺・爪			
5	2	皮 膚 の 循 環 系 と 神 経	皮膚の血管・リンパ管・神経			
6	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ①	体外保護作用・体温調節・知覚作用と皮膚反射			
7	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ②	分泌排泄作用・呼吸作用・吸収作用			
8	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ③	貯蔵作用・免疫・解毒・排除作用			
9	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ④	再生作用・毛のはたらき・爪のはたらき			
10	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ①	皮膚と全身状態・皮膚と精神・皮膚と栄養・皮膚と嗜好品 皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態			
11	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ②	皮膚・皮膚付属器官とホルモン・皮膚の保護と手入れ 毛の保護と手入れ			
12	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ③	爪の保護と手入れ・子供のおしゃれによる皮膚トラブル			
13	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ④	小テスト			
14	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ④	小テスト			
15	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ①	皮膚の異常とその種類・皮膚疾患の原因・皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹			
16	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ②	口唇の疾患・温熱・寒冷による疾患・角化異常による皮膚疾患・色素異常による疾患・血管腫・脂腺母斑			

17	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患③	下肢静脈瘤・分泌異常による皮膚疾患・化膿菌による皮膚疾患・ウイルスによる皮膚疾患
18	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患④	真菌による皮膚疾患・衛生害虫による皮膚疾患・感染症の皮膚・疾患の予防・家と爪の疾患・皮膚の腫瘍
19	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑤	小テスト
20	2	まとめと復習①	まとめと復習
21	2	まとめと復習②	まとめと復習
22	2	まとめと復習③	まとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目		化粧品化学			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要		美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め理容・美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	スキンケア製品①	第1節 化粧品の効果と使用プロセス 第2節 クレンジング用化粧品			
2	2	スキンケア製品②	第3節 コンディショニング用化粧品			
3	2	スキンケア製品③	第4節 トリートメント用化粧品			
4	2	メイクアップ用 化粧品 ①	メイクアップ製品の種類と剤形 ベースメイクアップ化粧品			
5	2	メイクアップ用 化粧品 ②	ポイントメイクアップ用化粧品 アイメイクアップ、まつげケア 等			
6	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ①	シャンプー剤			
7	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ②	スタイリング剤			
8	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ③	パーマ剤①			
9	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ④	パーマ剤②			
10	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ⑤	ヘアカラー製品①			
11	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ⑥	ヘアカラー製品②			
12	2	ヘアケア、メイクアップ、 スカルプケア製品 ⑦	スカルプケア製品			
13	2	まとめと復習①				
14	2	まとめと復習②				

15	2	まとめと復習③	
16	1	期 末 考 査	後期1時間

授 業 科 目		文化論			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	加藤順子
授 業 の 概 要		美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)		美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査60%、プリント達成度20%、授業の関心度20%とし、100点満点に換算し60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	ファッション文化史西洋編	古代エジプト/古代ギリシャ・ローマ			
2	2	ファッション文化史西洋編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ			
3	2	ファッション文化史西洋編	近世Ⅰ			
4	2	ファッション文化史西洋編	近世Ⅱ			
5	2	ファッション文化史西洋編	近世Ⅲ			
6	2	ファッション文化史西洋編	近代Ⅰ・Ⅱ			
7	2	ファッション文化史西洋編	現代Ⅰ			
8	2	ファッション文化史西洋編	現代Ⅱ			
9	2	ファッション文化史西洋編	現代Ⅲ			
10	2	ファッション文化史西洋編	現代Ⅳ			
11	2	ファッション文化史西洋編	現代Ⅴ			
12	2	ファッション文化史西洋編	現代Ⅵ			
13	2	礼装の種類	和装の礼装 洋装の礼装			
14	2	テスト対策				
15	2	期末考査	前期・後期各1時間			

授 業 科 目		理容理論			学科・学年	理容科 2年
開 講 期		通年	単位数	2.5	担当者名	今野 亘
授 業 の 概 要		理容の意義を十分に理解し、理容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		理容師に必要な理論と国家試験に必要な理論を身につける。 国家試験合格レベルの知識を習得する。				
評 価 方 法		期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	シェービング	シェービングを学ぶにあたって			
2	2	シェービング	シェービングの要件			
3	2	シェービング	シェービングの種類			
4	2	シェービング	シェービングの基本技術と要領①			
5	2	シェービング	シェービングの基本技術と要領②			
6	2	シェービング	シェービングのプロセス			
7	2	シェービング	メンズフェイスシェービング			
8	2	シェービング	メンズネックシェービング			
9	2	シェービング	メンズフェイスデザイン①			
10	2	シェービング	メンズフェイスデザイン②			
11	2	シェービング	レディースシェービング			
12	2	理容エステティック	理容エステティックを学ぶにあたって			
13	2	理容エステティック	スキンケア			
14	2	理容エステティック	フェイシャルケア			
15	2	理容エステティック	ハンドケア			
16	2	理容エステティック	フットケア～アロマセラピー			
17	2	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって～ヘアクリニックのカウンセリング			
18	2	理容クリニック	トリートメント			
19	2	理容クリニック	ヘアケアとスカルプケア			
20	2	理容クリニック	毛髪の基礎知識			
21	2	理容クリニック	ヘアチェック（毛髪診断）			
22	2	理容クリニック	頭皮の基礎知識			
23	2	理容クリニック	スカルプチェック（頭皮診断）			
24	2	理容クリニック	ヘアクリニックの用具～ウィッグ			
25	2	シャンプー & リンシング	シャンプーイング			
26	2	シャンプー & リンシング	シャンプーイングの方法			
27	2	シャンプー & リンシング	シャンプーイングの技法			
28	2	シャンプー & リンシング	リンシング			
29	2	理容マッサージ	マッサージの意義と効果			
30	2	理容マッサージ	理容マッサージのマニピレーション			
31	2	理容マッサージ	ヘッドマッサージの一例			

32	2	理容マッサージ	クリニックマッサージの一例
33	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントを学ぶにあたって
34	2	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類～ヘアトリートメントの一例
35	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントを学ぶにあたって
36	2	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントの種類～正常な頭皮に対する処置
37	2	ま と め	テキストIIの復習・テスト

授 業 科 目		運営管理			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子	
授 業 の 概 要	美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。					
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。					
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	復習と練習問題	1年時の復習問題			
2	2	従業員としての視点から②	社会保険② キャリアプラン			
3	2	健康・安全な職場環境の実現	健康管理の基礎 理容・美容の仕事と健康			
4	2	顧客のために①	サービスデザイン			
5	2	顧客のために②	マーケティング			
6	2	顧客のために③	サービスにおける人の役割			
7	2	復習と練習問題				
8	1	期 末 考 査	期末考査前期 1時間			

授 業 科 目		理容実習			学科・学年	理容科	2年
開 講 期		通年	単位数	15	担当者名	今野 亘	
授 業 の 概 要		理容の基礎的技術を実習で学び、美や造形感覚も養う。					
教 育 目 標 (ねらい)		理容師に必要な技術を身につける。国家試験に合格レベルの実技課題を身につける。					
評 価 方 法		実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					
授 業 計 画							
月	シャンプー	理容 マッサージ	シェービング及び顔 面処置	カット	専科	その他	備考
4	○	○	○	○			
5	○	○	○	○	○		
6	○	○	○	○	○	○	
7	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン
8	○			○	○		ヘアデザイン
9	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
10	○	○	○	○	○	○	アイロンパーマ
11	○	○	○	○	○	○	ヘアセッティング
12	○	○	○	○	○	○	ヘアデザイン カラーリング
1	○	○	○	○		○	ハンドケア
2	○	○	○			○	ヘアセッティング
3							まとめ
合計時数	80	70	80	130	40	50	

授 業 科 目	一般教養		デッサン		学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐々木郁実	
授 業 の 概 要	人物をモチーフとしたデッサンを通して観察力と表現力を高める。						
教 育 目 標 (ねらい)	1. 観察やイメージすることに基づいたデッサンの技術を身に着ける。 2. デッサンの技術によって、造形的な表現能力の向上と、美的感性の育成を図る。						
評 価 方 法	授業への関心態度50点、提出作品（イラストボード）30点、提出物（スケッチブック）20点の合計100点満点で評価し、60点以上で合格とする。						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	デッサンの基礎①	線による表現（目隠し描きと重ね書き）				
2	3	デッサンの基礎②	トーンによる表現、12色相環				
3	3	デッサンの基礎③	人体の構造、アイディアの出し方				
4	3	デッサンの基礎④	陰影と立体感				
5	3	人 物 を 描 く ①	ヘアデザイン画（構図）				
6	3	人 物 を 描 く ②	ヘアデザイン画（背景）				
7	3	人 物 を 描 く ③	ヘアデザイン画（全体像の完成）				
8	3	人 物 を 描 く ④	ヘアデザイン画（着彩）				
9	3	人 物 を 描 く ⑤	ヘアデザイン画（仕上げ）				
10	3	人 物 を 描 く ⑥	講評会				

授業科目	一般教養	パーソナルカラー		学科・学年	理容科 2年
開講期	前期または後期	単位数	1	担当者名	佐藤博美
授業の概要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける				
教育目標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。				
評価方法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度30%、課題提出40%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の成り立ち		
2	3	色の属性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度・彩度)		
3	3	色の属性 体験実習	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(清濁) 体験実習		
4	3	表色系 基本の配色法	PCCS(色相環とトーン) カラーコーディネート(基本の配色法)		
5	3	基礎知識	色の見える条件 4シーズン分類		
6	3	基礎知識	心理効果 パーソナルカラーのまとめ		
7	3	模擬試験	試験による基礎知識の確認		
8	3	検定試験対策	モジュール1 試験対策 パーソナルカラーを基にした課題の作成①		
9	3	検定試験	モジュール1 試験 パーソナルカラーを基にした課題の作成② 提出		
10	3	実技試験	パーソナルカラー診断実習		

授 業 科 目	一般教養		フラワーアレンジメント		学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐藤 淳子	
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。						
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。						
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。				
2	3	実 技	②トライアングュラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明				
3	3	実 技	③ホリゾント ④母の日ラッピングアレンジ				
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展				
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。				
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。				
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク				
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ				
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。				
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想				

授業科目	一般教養	アートワーク		学科・学年	理容科	2年
開講期	前期または後期	単位数	1	担当者名	ヨウル☆プッキ	
授業の概要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得					
教育目標 (ねらい)	『糸と布』でものづくり。 裁・膝・縫・繕・織・絡・編・裂・繻・染					
評価方法	授業への関心態度、提出物を評価する。 授業への関心態度40%、作品内容20%、提出40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	3	オリエンテーション	道具の説明、動作確認			
2	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成			
3	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成			
4	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成			
5	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍			
6	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍			
7	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍			
8	3	ロークラフト	インテリア小物作成			
9	3	ロークラフト	インテリア小物作成			
10	3	ロークラフト	インテリア小物作成			

授 業 科 目	一般教養 3Dネイル			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 授業への関心度40%、課題提出60%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
3	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
4	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
5	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
6	3	エンボスアート	エンボスアート		
7	3	3 D ア ー ト	作品制作		
8	3	3 D ア ー ト	作品制作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	課題提出		

授 業 科 目	一般教養		スタンドグラス		学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	齋藤有紀	
授 業 の 概 要	理容・美容の類似点を意識しながら、正確性を追求した製図やスタンドグラスの制作						
教 育 目 標 (ねらい)	スタンドグラス制作を通し、芸術的探究心を深め、理容美容にも通ずる、センスやオリジナル性の向上、作品を作り上げる達成感から学生たちの自己肯定感を育む。						
評 価 方 法	授業態度、提出物、制作への意欲、作品の完成度。技術評価50%、制作意欲20%、授業態度30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目		内 容			
1	3	スタンドグラスの概要説明 配布物の確認		スタンドグラスの歴史、概要、授業の進め方の説明。 個人への配布物・班ごとの配布物の確認。			
2	3	実	技	工具の説明、ガラスカットの練習。ガラスカット。			
3	3	実	技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
4	3	実	技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
5	3	実	技	カパーテープの巻き方説明、カパーテープ巻き、 はんだごての使い方・はんだ付け			
6	3	実	技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
7	3	実	技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
8	3	実	技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄			
9	3	実	技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄、完成			
10	3	総	括	完成作品の装飾込み発表展示、講評。自己評価、感想・レポート提出			

授 業 科 目	一般教養	ヨガ	学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名 安田里彩
授 業 の 概 要	ヨガを通して心の健康はもとより、心と身体の調和や自律神経の調整を目指していく。日頃から頑張っている自分をたっぷりと褒め、受け止める／認めてあげる時間を過ごし、より美容や利用の分野にフォーカスできる心の環境を整えていく。			
教 育 目 標 (ねらい)	内側から美しい「心と身体」を作る。 「心」「身体」「呼吸」、三位一体になったときに生まれる心の内側の変化、表面的な体の変化を体得する。			
評 価 方 法	授業への関心度、提出物で評価する。授業の関心度60%、提出物（小テスト）40%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	ヨ ガ の 概 要 環 境 活 動 の 概 要	ヨガについて・クラスの進め方・ビギナーヨガ マットや使用物の取り扱いについて
2	3	座 学 ・ 実 践	呼吸×ヨガ（花呼吸/腹式呼吸）
3	3	座 学 ・ 実 践	自律神経×ヨガ（交感神経/副交感神経）
4	3	座 学 ・ 実 践	マインドフルネス×ヨガ（瞑想）
5	3	座 学 ・ 実 践	フローヨガ（呼吸に動きを乗せる）
6	3	座 学 ・ 実 践	筋膜リリース×ヨガ（セルフケア）
7	3	座 学 ・ 実 践	デトックス×ヨガ（不要物の排出）
8	3	座 学 ・ 実 践	骨盤調整×ヨガ（正しい骨格へ）
9	3	座 学 ・ 実 践	伝える×ヨガ（2グループ。真理時間1時間で1つアサナを完成
10	3	座 学 ・ 実 践	オリジナルシザーケースの作成（今後もヨガが生活の中にある

授 業 科 目	一般教養 レザークラフト			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	木戸崇
授 業 の 概 要	革を使用し、いろいろな作品を作成する				
教 育 目 標 (ねらい)	レザーでいろいろなものを制作しながら創造力や造形技術を身につける				
評 価 方 法	授業への関心度、課題作品の完成度で評価する。 授業の関心度50%、作品の完成度50%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	カードケース作成	レザークラフトの基本となる張り合わせ、穴あけ、縫い、仕上げの練習		
2	3	カービング	好きなデザインを用い、自分の名前をカービングする		
3	3	コインケース	縫いの正確さ、きれいさの追求		
4	3	コインケース	コインケースの仕上げ		
5	3	カードケース	カードケース作成		
6	3	カードケース	カードケース作成		
7	3	ペントレイ	今までの制作技術の復習		
8	3	シザーケース	革の裁断、カービング、縫いなどに注意し、オリジナルのシザーケースの作成		
9	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		
10	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		

授 業 科 目	専門教育	着付け	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子 鈴木久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い

授 業 科 目	専門教育 アップ			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする				
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的		
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方		
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)		
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)		
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)		
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)		
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル		
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン		
9	4	編み込みスタイル	かご編み		
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方		
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル		
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル		
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会		
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック		
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ		
26	4	日 本 髪	日本髪の練習		
27	4	日 本 髪	日本髪の練習		
28	4	日 本 髪	日本髪の練習		
29	4	日 本 髪	日本髪の練習		
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト		

授 業 科 目	専門教育	エステ	学科・学年	理容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名 鈴木 元子 松本しおり
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する			
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける			
評 価 方 法	実技テストと筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、筆記試験20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1, 2	エステティックとは・生命活動と代謝
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4, 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7, 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9, 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11, 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13, エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレイ①
10	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ①
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ②
12	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②
16	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
17	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
18	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
19	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
20	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
21	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント
26	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
27	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
28	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
29	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
30	4	ボディトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋卓希・菊地恵美
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

授 業 科 目	専門教育	ネイル	学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ			
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル(初級)に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)
5	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布
12	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート
15	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
19	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適応した技術テスト
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
24	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
27	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・ジェルアート
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート

授 業 科 目	専門教育	カラーリング	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	白畑亨・川村こずえ
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
5	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
6	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	グ ル ー プ 学 習	トラブルの多いカラーリング検証(毛束学習)
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング(体験入学会)
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
26	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
29	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
30	4	実 技 テ ス ト	サロンワークについて、撮影、写真加工デモ

授 業 科 目	専門教育			メイク	学科・学年	理容科	2年
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	橋浦志帆・櫻井江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果				
2	4	メイクアップ理論	スキンケアの役割 メイクアップの要素				
3	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り				
4	4	ベースメイク	ローション、クリーム、ベース、コンシーラー				
5	4	ポイントメイク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング				
6	4	ナチュラルメイク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ				
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク				
8	4	バリエーションメイク	クールメイク				
9	4	バリエーションメイク	和装メイク				
10	4	バリエーションメイク	韓国人メイク				
11	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク				
12	4	バリエーションメイク	ゴージャスメイク				
13	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト		三善テスト		
14	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク				
15	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク				
16	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク				
17	4	特 殊 メ イ ク	エイジメイク				
18	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク				
19	4	特 殊 メ イ ク	マリリン・モンローメイク				
20	4	特 殊 メ イ ク	オードリー・ヘップバーンメイク				
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	舞妓メイク				
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク				
23	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク				
24	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク				
25	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク				
26	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク				
27	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)				
28	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)				
29	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				
30	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・後藤和幸
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティーを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング①		
13	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング②		
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レイヤー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		

授 業 科 目	専門教育 トータルテクニク			学科・学年	理容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋敏樹 川村重夫
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。				
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。				
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	カラーリング	カラーチャート造り ブリーチ(常温・加温)		
2	4	カラーリング	カラーチャート造り アルカリカラーバージョン(アンダーカラー4種)		
3	4	カラーリング	カラーチャート造り マニキュアバージョン(アンダーカラー4種)		
4	4	カラーリング	塗布の練習		
5	4	ワンレングスカット	ワンレングスをカット ハーフアップ評価		
6	4	ワンレングスブロー	ブロー アイロン操作		
7	4	ロングレイヤー	ロングのレイヤーカット デンマンブラシセット		
8	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ		
9	4	〃 ショート	レザーカット アイロン仕上げ		
10	4	〃	カラー(ブリーチ・ウィービング)		
11	4	〃	カラー(アルカリカラー・スライジング)		
12	4	レイヤーボブ	レイヤーボブカット セット コンテスト創作		
13	4	フェード(刈り上げ)	ジェットモヒカン ソフトモヒカン		
14	4	〃	7:3フェード		
15	4	アップスタイル	編み込み コーンロウ スタイル造り		
16	4	ワンレングスカット	ストレート用に薬液処理		
17	4	メンズマッシュフェード	フェードカット セット		
18	4	レイヤーボブ	レイヤーボブにブリーチを入れる コンテスト創作		
19	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作 実際に薬液処理		
20	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ		
21	4	レイヤーボブカラー	メンズマッシュ レイヤーボブ カラー コンテスト創作		
22	4	ジェンダーレスカット	マッシュ 刈り上げ等		
23	4	ツイストパーマ	アルミホイルを使ったパーマ 薬液処理		
24	4	ショートレイヤー	ショートのレイヤーカット		
25	4	メンズ・レディース創作発表	コンテスト創作 10:30~タイムコンテスト評価		
26	4	フリースタイル	ウィッグを観て同じように作成		
27	4	〃	カット・カラー調整		
28	4	〃	カット・カラー調整		
29	4	〃	編み込み・ツンツン練習		
30	4	〃	フリーでテスト11:10~12:00評価 まとめ		

授 業 科 目	専門教育	カットII		学科・学年	理容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名	筒井雄生・後藤和幸
授 業 の 概 要	サロンワークに直結した内容を学び、理容師の仕事の魅力を知る。				
教 育 目 標 (ねらい)	現代のトレンドに合った技術の習得、技術の活かし方を学習する。				
評 価 方 法	授業最終日のコンテスト、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	ミディアムレイヤー	カットシステムの理解と実際
2	4	セイムレイヤーカット	カットシステムの理解と実際
3	4	ショートレイヤー	カットシステムの理解と実際
4	4	グラデーションボブ	カットシステムの理解と実際
5	4	グラデーションボブ	カラーリング実施
6	4	ロングレイヤー	トレンドに合わせたスタイルのカットとスタイリング
7	4	グ ラ ボ ブ	仕上げとセット
8	4	システムマッシュレイヤー	トレンドに合わせたミディアムのカットとスタイリング
9	4	スクエアカット	カットシステムの理解と実際
10	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
11	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
12	4	ハーフロング プロース	カットとぼかし(直し)
13	4	ボ ブ	トレンドに合わせたボブのカットとスタイリング
14	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット
15	4	シ ョ ー ト ボ ブ	トレンドに合わせたショートボブのカットとスタイリング
16	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
17	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット
18	4	ハーフロング プロース	カットとぼかし(直し)セット
19	4	ブ ロ ー ス	カットとぼかし(直し)セット
20	4	クラシカルカット	カットの実際
21	4	クラシカルカット	カット 仕上げ
22	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
23	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
24	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	フリー作品作り(ミニコンテスト)
26	4	デザインコンテスト	学習してきたことを活かしてデザインカット
27	4	クラシカルバック	カット仕上げ セット
28	4	ミディアム事前カット	カットの実際 レディースミディアムカット
29	4	ミディアムカット	カットとぼかし(直し)セット(テスト)
30	4	フ リ ー カ ッ ト	相モデルでの実施

授 業 科 目	関係法規			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	法 制 度 の 概 要	社会生活における法の役割、法の形式 衛生法規の概要、理容師法・美容師法と附属法令		
2	2	衛 生 行 政 の 概 要	衛生行政の意義と歴史、分類と生活衛生行政の内容		
3	2	理容師法・美容師法①	目的、用語の定義		
4	2	理容師法・美容師法②	人（理容師・美容師）に関する規定（1）		
5	2	理容師法・美容師法③	人（理容師・美容師）に関する規定（2）		
6	2	理容師法・美容師法④	人（理容師・美容師）に関する規定（3）		
7	2	試 験 練 習 問 題			
8	1	期 末 考 査	後期1時間		

授 業 科 目		衛生管理			学科・学年	美容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	公衆衛生の概要（1）	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史			
2	2	公衆衛生の概要（2）	理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業			
3	2	保 健 （ 1 ）	母子保健			
4	2	保 健 （ 2 ）	成人・高齢者保健①			
5	2	保 健 （ 3 ）	成人・高齢者保健②			
6	2	保 健 （ 4 ）	成人・高齢者保健③・精神保健 練習問題			
7	2	環 境 衛 生 （ 1 ）	環境衛生の概要			
8	2	環 境 衛 生 （ 2 ）	空気環境			
9	2	環 境 衛 生 （ 3 ）	衣服・住居の衛生			
10	2	環 境 衛 生 （ 4 ）	上・下水道と廃棄物 練習問題			
11	2	環 境 衛 生 （ 5 ）	衛生害虫とネズミ 環境保全			
12	2	感染症の総論（1）	感染症発見の歴史 感染症と法律			
13	2	感染症の総論（2）	感染症の分類 練習問題			
14	2	感染症の総論（3）	病原微生物①			
15	2	感染症の総論（4）	病原微生物② 練習問題			
16	2	感染症の総論（5）	感染症の予防①			

17	2	感染症の総論（6）	感染症の予防②
18	2	感染症の総論（7）	感染症の予防③ 練習問題
19	2	感染症の各論（1）	主な感染症①
20	2	感染症の各論（2）	主な感染症②
21	2	感染症の各論（3）	主な感染症③
22	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	保健			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	1.5	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要	基礎的な人体の構造（仕組み）について学習する。頭頸部を中心に解剖学を、人体を理解するために骨角器系、筋系、神経系、感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系、消化器系に分けて学習する。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)	人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識並びに、現場で役立つ知識を知ることを目標とする。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法	期末試験と提出物（ノート、小テスト）、授業態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学①	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学①		
2	2	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学②	頭部、顔部、頸部の体表解剖学②		
3	2	骨 格 器 系 ①	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき		
4	2	骨 格 器 系 ②	骨の種類と構造・骨の連結・骨角器系とそのはたらき		
5	2	筋 系 ①	筋の種類とその特徴・主な骨格筋とそのはたらき		
6	2	筋 系 ②	表情筋と表情運動		
7	2	神 経 系	神経系の成り立ち・中枢神経・末梢神経とそのはたらき		
8	2	感 覚 器 系 ①	視覚・聴覚・平衡感覚		
9	2	感 覚 器 系 ②	味覚・嗅覚、皮膚感覚		
10	2	血 液 と 免 疫 系	血液のあらまし・免疫のあらまし・アレルギー		
11	2	循 環 器 系	心臓のあらまし・血液循環の仕組み・血液循環経路・リンパ管系の仕組みと働き		
12	2	呼 吸 器 系 ①	呼吸器系のあらまし・気道		
13	2	呼 吸 器 系 ②	肺の仕組みとガス交換・呼吸運動		
14	2	消 化 器 系 ①	消化器系のあらまし・消化管の仕組み		
15	2	消 化 器 系 ②	消化管の働き・消化と物質代謝		
16	2	ま と め と 復 習	小テストと復習		

17	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
18	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
19	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
20	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
21	2	ま と め と 復 習	小テストと復習
22	2	期 末 考 査	前期・後期1時間

授 業 科 目		化粧品化学			学科・学年	美容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要		理美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教 育 目 標 (ねらい)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	香 粧 品 総 論	第1節 化粧品とは	第2節 化粧品と造形	第3節 化粧品の効果と使用プロセス	
2	2	化粧品を使用する際に気をつけるべきこと	第1節 化粧品の使用による症状	第2節 定義と法規制	第3節 安全性と安定性	
3	2	化粧品の成り立ち (1)	第1節 化粧品の成り立ち	第2節 水と親水性溶媒 ①		
4	2	化粧品の成り立ち (2)	第2節 水と親水性溶媒 ②	第3節 油性原料 ①		
5	2	化粧品の成り立ち (3)	第3節 油性原料 ②			
6	2	化粧品の成り立ち (4)	第4節 界面活性剤①			
7	2	化粧品の成り立ち (5)	第4節 界面活性剤②			
8	2	化粧品の成り立ち (6)	第5節 高分子化合物			
9	2	化粧品の成り立ち (7)	第6節 色材①			
10	2	化粧品の成り立ち (8)	第6節 色材②			
11	2	化粧品の成り立ち (9)	第7節 香料			
12	2	化粧品の成り立ち (10)	第8節 製品を安定させる配合原料			
13	2	化粧品の成り立ち (11)	第9節 その他の機能性配合原料			
14	2	化粧品の成り立ち (12)	第10節 雑貨原料			
15	1	期 末 考 査	後期1時間			

授 業 科 目		文化論			学科・学年	美容科 1年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	北野 史
授 業 の 概 要		美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)		美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査60%、プリント達成度20%、授業の関心度20%とし、100点満点に換算し60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	総 論	総論			
2	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業			
3	2	日 本 の 理 容 業 美 容 業 の 歴 史	近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業			
4	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	縄文・弥生・古墳時代			
5	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	古代（飛鳥・奈良・平安時代）			
6	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）			
7	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）			
8	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）			
9	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）			
10	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近世Ⅱ（江戸時代）			
11	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）			
12	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）			
13	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	近代（明治・大正・昭和）			
14	2	フ ァ ッ シ ョ ン 文 化 史 日 本 編	現代Ⅰ			
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	鈴木久美子
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な理論を身につけ、国家試験合格レベルの理論と知識を習得する				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と技術 美容技術における作業姿勢
2	2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術に必要な人体各部の名称
3	2	美 容 用 具	美容技術における用具
4	2	美 容 用 具	美容技術における道具
5	2	美 容 用 具	美容技術における器具・機械
6	2	シャンプーイング	シャンプーイング総論
7	2	シャンプーイング	サイドシャンプー バックシャンプー
8	2	シャンプーイング	リンス・コンディショナー・トリートメント
9	2	シャンプーイング	スカルプトリートメント・ヘッドスパ
10	2	シャンプーイング	サイドシャンプー マニュアル作成
11	2	シャンプーイング	サイドシャンプー マニュアル作成
12	2	シャンプーイング	サイドシャンプー マニュアル作成
13	2	ヘアデザイン	美容とデザイン
14	2	ヘアデザイン	デザインの要素
15	2	ヘアデザイン	デザインの原理
16	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングとは 美容刃物
17	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの正しい姿勢 ブロッキング
18	2	ヘアカッティング	ヘアカッティングの基礎理論 ベーシックなカット技法
19	2	ヘアカッティング	シザーズ・レザーによるカット技法
20	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブの歴史と現在
21	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブの理論
22	2	パーマメントウェーブ	パーマ剤の分類・注意事項
23	2	パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブ技術
24	2	パーマメントウェーブ	ワインディング (国家試験) マニュアル作成
25	2	パーマメントウェーブ	ワインディング (国家試験) マニュアル作成
26	2	パーマメントウェーブ	ワインディング (国家試験) マニュアル作成
27	2	ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概論・種類・タイプ別特徴・色の基本
28	2	ヘアカラーリング	染毛のメカニズム・毛髪のレベルとアンダートーン
29	2	ヘアカラーリング	パッチテスト・注意事項・ヘアブリーチ・各技術の一例
30	2	メイクアップ	メイクアップ概論
31	2	メイクアップ	メイクアップと色彩 メイクアップの道具
32	2	メイクアップ	スキンケア ベースメイクアップ

33	2	メイクアップ	ポイントメイクアップ
34	2	メイクアップ	まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健
35	2	メイクアップ	まつ毛エクステンションにおけるカウンセリング
36	2	メイクアップ	まつ毛エクステンションの道具及び技術の一例
37	2	まとめ	美容理論1年次の総復習・小テスト
38	2	期末考査	前期期末試験・後期期末試験 各1時間

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	経 営 者 の 視 点	経営とは・経営者とは		
2	2	理 容 業 美 容 業 の 経 営 に つ い て	業界の概念、競争の変化、サービスとしての理美容顧客		
3	2	資 金 の 管 理	収支と損益、会計の考え方、コスト管理、税金		
4	2	人 という 資 源 ①	人という資源とは、人の能力を高める 人をやる気にさせるために		
5	2	人 という 資 源 ②	給与、待遇福利厚生 労働者の権利		
6	2	従 業 員 の 視 点 か ら ①	社会人としての責任 社会保険①		
7	2	試 験 練 習 問 題			
8	1	期 末 考 査	前期・後期各1時間		

授業科目	美容実習			学科・学年	美容科	1年
開講期	通年	単位数	15	担当者名	鈴木久美子	
授業の概要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る					
教育目標 (ねらい)	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を身につける					
評価方法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
月	シャンプー	カット	ワインディング	専科	その他	備考
4	○	○	○			
5	○	○	○	○		
6	○	○	○	○		
7	○	○	○	○		まつ毛エクステ
8	○	○	○	○		メイクアップ
9	○	○	○	○		カラーリング
10	○	○	○	○	○	
11	○	○	○	○	○	
12	○	○	○	○	○	ヘアデザイン
1	○	○	○		○	
2	○	○	○		○	
3		○	○			
合計時数	90	110	180	40	30	

授 業 科 目	一般教養		デッサン		学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐々木郁実	
授 業 の 概 要	人物をモチーフとしたデッサンを通して観察力と表現力を高める。						
教 育 目 標 (ねらい)	1. 観察やイメージすることに基づいたデッサンの技術を身に着ける。 2. デッサンの技術によって、造形的な表現能力の向上と、美的感性の育成を図る。						
評 価 方 法	授業への関心態度50点、提出作品（イラストボード）30点、提出物（スケッチブック）20点の合計100点満点で評価し、60点以上で合格とする。						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	デッサンの基礎①	線による表現（目隠し描きと重ね書き）				
2	3	デッサンの基礎②	トーンによる表現、12色相環				
3	3	デッサンの基礎③	人体の構造、アイディアの出し方				
4	3	デッサンの基礎④	陰影と立体感				
5	3	人 物 を 描 く ①	ヘアデザイン画（構図）				
6	3	人 物 を 描 く ②	ヘアデザイン画（背景）				
7	3	人 物 を 描 く ③	ヘアデザイン画（全体像の完成）				
8	3	人 物 を 描 く ④	ヘアデザイン画（着彩）				
9	3	人 物 を 描 く ⑤	ヘアデザイン画（仕上げ）				
10	3	人 物 を 描 く ⑥	講評会				

授 業 科 目	一般教養			パーソナルカラー		学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期		単位数	1		担当者名	佐藤博美	
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける							
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。							
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度30%、課題提出40%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする							
授 業 計 画								
回	時間	項 目		内 容				
1	3	パーソナルカラー概論		パーソナルカラーとは 色の成り立ち				
2	3	色 の 属 性		色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度・彩度)				
3	3	色 の 属 性 体 験 実 習		色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(清濁) 体験実習				
4	3	表 色 系 基 本 の 配 色 法		PCCS (色相環とトーン) カラーコーディネート (基本の配色法)				
5	3	基 礎 知 識		色に見える条件 4シーズン分類				
6	3	基 礎 知 識		心理効果 パーソナルカラーのまとめ				
7	3	模 擬 試 験		試験による基礎知識の確認				
8	3	検 定 試 験 対 策		モジュール1 試験対策 パーソナルカラーを基にした課題の作成①				
9	3	検 定 試 験		モジュール1 試験 パーソナルカラーを基にした課題の作成② 提出				
10	3	実 技 試 験		パーソナルカラー診断実習				

授 業 科 目	一般教養		フラワーアレンジメント	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。					
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。					
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。			
2	3	実 技	②トライアングュラー 花材説明(種類、産地、特徴)図解説明			
3	3	実 技	③水平 ④母の日ラッピングアレンジ			
4	3	実 技	⑤平行 ⑥交差 基礎から発展			
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。			
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。			
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク			
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチャを学ぶ			
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。			
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想			

授業科目	一般教養	アートワーク		学科・学年	美容科 1年
開講期	前期または後期	単位数	1	担当者名	ヨウル☆プッキ
授業の概要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得				
教育目標 (ねらい)	『糸と布』でものづくり。 裁・膝・縫・繕・織・絡・編・裂・繻・染				
評価方法	授業への関心態度、提出物を評価する。 授業への関心態度40%、作品内容20%、提出40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	オリエンテーション	道具の説明、動作確認		
2	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成		
3	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成		
4	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成		
5	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍		
6	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍		
7	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍		
8	3	ロークラフト	インテリア小物作成		
9	3	ロークラフト	インテリア小物作成		
10	3	ロークラフト	インテリア小物作成		

授 業 科 目	一般教養 3Dネイル			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 授業への関心度40%、課題提出60%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
3	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
4	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
5	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
6	3	エ ン ボ ス ア ー ト	エンボスアート		
7	3	3 D ア ー ト	作品制作		
8	3	3 D ア ー ト	作品制作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	課題提出		

授 業 科 目	一般教養	スタンドグラス		学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	齋藤有紀	
授 業 の 概 要	理容・美容の類似点を意識しながら、正確性を追求した製図やスタンドグラスの制作					
教 育 目 標 (ねらい)	スタンドグラス制作を通し、芸術的探究心を深め、理容美容にも通ずる、センスやオリジナル性の向上、作品を作り上げる達成感から学生たちの自己肯定感を育む。					
評 価 方 法	授業態度、提出物、制作への意欲、作品の完成度。技術評価50%、制作意欲20%、授業態度30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	3	スタンドグラスの概要説明 配布物の確認	スタンドグラスの歴史、概要、授業の進め方の説明。 個人への配布物・班ごとの配布物の確認。			
2	3	実 技	工具の説明、ガラスカットの練習。ガラスカット。			
3	3	実 技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
4	3	実 技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
5	3	実 技	カパーテープの巻き方説明、カパーテープ巻き、 はんだごての使い方・はんだ付け			
6	3	実 技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
7	3	実 技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
8	3	実 技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄			
9	3	実 技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄、完成			
10	3	総 括	完成作品の装飾込み発表展示、講評。自己評価、感想・レポート提出			

授 業 科 目	一般教養	ヨガ	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名
授 業 の 概 要	ヨガを通して心の健康はもとより、心と身体の調和や自律神経の調整を目指していく。日頃から頑張っている自分をたっぷりと褒め、受け止める／認めてあげる時間を過ごし、より美容や利用の分野にフォーカスできる心の環境を整えていく。			
教 育 目 標 (ねらい)	内側から美しい「心と身体」を作る。 「心」「身体」「呼吸」、三位一体になったときに生まれる心の内側の変化、表面的な体の変化を体得する。			
評 価 方 法	授業への関心度、提出物で評価する。授業の関心度60%、提出物（小テスト）40%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	ヨ ガ の 概 要 環 境 活 動 の 概 要	ヨガについて・クラスの進め方・ビギナーヨガ マットや使用物の取り扱いについて
2	3	座 学 ・ 実 践	呼吸×ヨガ（花呼吸/腹式呼吸）
3	3	座 学 ・ 実 践	自律神経×ヨガ（交感神経/副交感神経）
4	3	座 学 ・ 実 践	マインドフルネス×ヨガ（瞑想）
5	3	座 学 ・ 実 践	フローヨガ（呼吸に動きを乗せる）
6	3	座 学 ・ 実 践	筋膜リリース×ヨガ（セルフケア）
7	3	座 学 ・ 実 践	デトックス×ヨガ（不要物の排出）
8	3	座 学 ・ 実 践	骨盤調整×ヨガ（正しい骨格へ）
9	3	座 学 ・ 実 践	伝える×ヨガ（2グループ。真理時間1時間で1つアサナを完成
10	3	座 学 ・ 実 践	オリジナルシザーケースの作成（今後もヨガが生活の中にある

授 業 科 目	一般教養 レザークラフト			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	木戸崇
授 業 の 概 要	革を使用し、いろいろな作品を作成する				
教 育 目 標 (ねらい)	レザーでいろいろなものを制作しながら創造力や造形技術を身につける				
評 価 方 法	授業への関心度、課題作品の完成度で評価する。 授業の関心度50%、作品の完成度50%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	カードケース作成	レザークラフトの基本となる張り合わせ、穴あけ、縫い、仕上げの練習		
2	3	カービング	好きなデザインを用い、自分の名前をカービングする		
3	3	コインケース	縫いの正確さ、きれいさの追求		
4	3	コインケース	コインケースの仕上げ		
5	3	カードケース	カードケース作成		
6	3	カードケース	カードケース作成		
7	3	ペントレイ	今までの制作技術の復習		
8	3	シザーケース	革の裁断、カービング、縫いなどに注意し、オリジナルのシザーケースの作成		
9	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		
10	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		

授 業 科 目	専門教育	着付け	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子 鈴木久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い

授 業 科 目	専門教育 アップ			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする				
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的		
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方		
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)		
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)		
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)		
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)		
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル		
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン		
9	4	編み込みスタイル	かご編み		
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方		
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル		
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル		
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会		
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック		
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ		
26	4	日 本 髪	日本髪の練習		
27	4	日 本 髪	日本髪の練習		
28	4	日 本 髪	日本髪の練習		
29	4	日 本 髪	日本髪の練習		
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト		

授 業 科 目	専門教育	エステ	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名 鈴木 元子 松本しおり
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する			
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける			
評 価 方 法	実技テストと筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、筆記試験20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1, 2	エステティックとは・生命活動と代謝
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4, 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7, 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9, 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11, 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13, エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレイ①
10	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ①
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ②
12	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②
16	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
17	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
18	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
19	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
20	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
21	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント
26	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
27	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
28	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
29	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
30	4	ボディトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋卓希・菊地恵美
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

授 業 科 目	専門教育	ネイル	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ			
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル(初級)に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)
5	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布
12	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート
15	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
19	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適応した技術テスト
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
24	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)
27	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・ジェルアート
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート

授 業 科 目	専門教育	カラーリング	学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ			
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける			
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
5	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
6	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	グ ル ー プ 学 習	トラブルの多いカラーリング検証(毛束学習)
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング(体験入学会)
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
26	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
29	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
30	4	実 技 テ ス ト	サロンワークについて、撮影、写真加工デモ

授 業 科 目	専門教育			メイク	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	橋浦志帆・櫻井江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果				
2	4	メイクアップ理論	スキンケアの役割 メイクアップの要素				
3	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り				
4	4	ベースメイク	ローション、クリーム、ベース、コンシーラー				
5	4	ポイントメイク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング				
6	4	ナチュラルメイク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ				
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク				
8	4	バリエーションメイク	クールメイク				
9	4	バリエーションメイク	和装メイク				
10	4	バリエーションメイク	韓国人メイク				
11	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク				
12	4	バリエーションメイク	ゴージャスメイク				
13	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト		三善テスト		
14	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク				
15	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク				
16	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク				
17	4	特 殊 メ イ ク	エイジメイク				
18	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク				
19	4	特 殊 メ イ ク	マリリン・モンローメイク				
20	4	特 殊 メ イ ク	オードリー・ヘップバーンメイク				
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	舞妓メイク				
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク				
23	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク				
24	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク				
25	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク				
26	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク				
27	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)				
28	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)				
29	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				
30	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	美容科 1年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・後藤和幸
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティーを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング①		
13	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング②		
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レイヤー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		

授 業 科 目	専門教育			トータルテクニク	学科・学年	美容科	1年
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	高橋敏樹 川村重夫	
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。						
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。						
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	カラーリング	カラーチャート造り ブリーチ(常温・加温)				
2	4	カラーリング	カラーチャート造り アルカリカラーバージョン(アンダーカラー4種)				
3	4	カラーリング	カラーチャート造り マニキュアバージョン(アンダーカラー4種)				
4	4	カラーリング	塗布の練習				
5	4	ワンレングスカット	ワンレングスをカット ハーフアップ評価				
6	4	ワンレングスブロー	ブロー アイロン操作				
7	4	ロングレイヤー	ロングのレイヤーカット デンマンブラシセット				
8	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ				
9	4	〃 ショート	レザーカット アイロン仕上げ				
10	4	〃	カラー(ブリーチ・ウィービング)				
11	4	〃	カラー(アルカリカラー・スライジング)				
12	4	レイヤーボブ	レイヤーボブカット セット コンテスト創作				
13	4	フェード(刈り上げ)	ジェットモヒカン ソフトモヒカン				
14	4	〃	7:3フェード				
15	4	アップスタイル	編み込み コーンロウ スタイル造り				
16	4	ワンレングスカット	ストレート用に薬液処理				
17	4	メンズマッシュフェード	フェードカット セット				
18	4	レイヤーボブ	レイヤーボブにブリーチを入れる コンテスト創作				
19	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作 実際に薬液処理				
20	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ				
21	4	レイヤーボブカラー	メンズマッシュ レイヤーボブ カラー コンテスト創作				
22	4	ジェンダーレスカット	マッシュ 刈り上げ等				
23	4	ツイストパーマ	アルミホイルを使ったパーマ 薬液処理				
24	4	ショートレイヤー	ショートのレイヤーカット				
25	4	メンズ・レディース創作発表	コンテスト創作 10:30～タイムコンテスト評価				
26	4	フリースタイル	ウィッグを観て同じように作成				
27	4	〃	カット・カラー調整				
28	4	〃	カット・カラー調整				
29	4	〃	編み込み・ツンツン練習				
30	4	〃	フリーでテスト11:10～12:00評価 まとめ				

授業科目	専門教育 まつ毛エクステンション		学科・学年	美容科
開講期	前期	単位数	4	担当者名 星歩 松本しおり
授業の概要	まつ毛エクステンションの基礎知識と安全に配慮した技術者としての心構えを理解する			
教育目標 (ねらい)	アイリストとして社会で働くうえでの基礎知識と技術を身につける			
評価方法	実技試験と筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技試験60%、筆記試験20%、授業への関心度(課題提出)20%とし、100点満			
授 業 計 画				
回	時間	項 目	内 容	
1	4	理論	序章 まつ毛エクステンションとは	
2	4	理論	第1章 まつ毛エクステンションの用具	
3	4	理論	第2章 衛生管理	
4	4	理論	第3章 保健	
5	4	理論	第4章 カウンセリング	
6	4	理論	第5章 まつ毛エクステンション技術①	
7	4	理論	第5章 まつ毛エクステンション技術②	
8	4	理論	理論まとめ・筆記試験	
9	4	実習	ワゴンセッティング	
10	4	実習	テーピング	
11	4	実習	まつ毛のかき分け・ツイザーの使用法	
12	4	実習	エクステンションのつかみ方(バルク・シート)	
13	4	実習	グルーの使用法・ブローアの使用法	
14	4	実習	リムービング	
15	4	実習	エクステンションの装着練習(Jカール)	
16	4	実習	エクステンションの装着練習(Cカール)	
17	4	実習	エクステンションの装着練習(Dカール)	
18	4	実習	デザインの基礎(キュート)	
19	4	実習	デザインの基礎(セクシー)	
20	4	実習	デザインの基礎(ゴージャス)	
21	4	実習	デザインの応用	
22	4	実習	デザインの応用	
23	4	実習	デザインの応用	
24	4	実習	デザインの応用	
25	4	実習	実技まとめ・実技テスト	
26	4	実習	テープワーク(相モデル)	
27	4	実習	アイシャンプー(相モデル)	
28	4	実習	リラクゼーション・アロマ	
29	4	実習	リラクゼーション・アロマ	
30	4	実習	リラクゼーション・アロマ	

授 業 科 目		関係法規			学科・学年	美容科 2年
開 講 期		通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要		理・美容師に必要な関係法規・制度を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		理・美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	復 習	1年時の復習問題			
2	2	理容師法・美容師法⑤	違反者に対する行政処分			
3	2	理容師法・美容師法 ⑥	罰則			
4	2	関 連 法 規 ①	理容業・美容業に関連する法律①			
5	2	関 連 法 規 ②	理容業・美容業に関連する法律②			
6	2	ま と め と 復 習 ①				
7	2	練 習 問 題				
8	1	期 末 考 査	後期1時間			

授 業 科 目		衛生管理			学科・学年	美容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	高橋 まり
授 業 の 概 要		美容師にとって欠かすことのできない衛生関係の知識を、公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術（消毒法）に分けて学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)		1. 美容師国家試験合格のための知識習得 2. 公衆衛生・環境衛生の意義と美容業との関わりを認識する。 3. 美容所で起こりうる感染症に対して、適切な対処方法を身につける。				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物（ノート、小テスト）を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	感染症各論（1）	主な感染症①			
2	2	感染症各論（2）	主な感染症② 具体的な対策の例 練習問題			
3	2	消毒法総論（1）	消毒の意味と意義			
4	2	消毒法総論（2）	理容・美容の業務と消毒との関係			
5	2	消毒法総論（3）	消毒法と適用上の注意 練習問題			
6	2	消毒法各論（1）	理学的消毒法			
7	2	消毒法各論（2）	化学的消毒法①			
8	2	消毒法各論（3）	化学的消毒法②			
9	2	消毒法実習（1）	消毒薬の濃度計算①			
10	2	消毒法実習（2）	消毒薬の濃度計算② 練習問題			
11	2	消毒法実習（3）	消毒薬の選び方 練習問題			
12	2	理容所および美容所における衛生管理要領（1）	目的、施設及び設備 練習問題			
13	2	理容所および美容所における衛生管理要領（2）	管理① 練習問題			
14	2	理容所および美容所における衛生管理要領（3）	衛生的取り扱いなど 練習問題			
15	2	理容所および美容所における衛生管理要領（4）	消毒、理・美容所の樹種的管理 練習問題			
16	2	国家試験対策（1）	国家試験の過去の問題を解く			

17	2	国家試験対策（2）	国家試験の過去の問題を解く
18	2	国家試験対策（3）	国家試験の過去の問題を解く
19	2	国家試験対策（4）	国家試験の過去の問題を解く
20	2	国家試験対策（5）	国家試験の過去の問題を解く
21	2	国家試験対策（6）	国家試験の過去の問題を解く
22	2	国家試験対策（7）	国家試験の過去の問題を解く
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目		保健			学科・学年	美容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1.5	担当者名	千葉啓子
授 業 の 概 要		基礎的な人体の構造（仕組み）について学習する。頭頸部を中心に解剖学を、人体を理解するために骨角器系、筋系、神経系、感覚器系、血液・循環器系、呼吸器系、消化器系に分けて学習する。小テストや過去問を国家試験対策として練習する。				
教 育 目 標 (ねらい)		人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識並びに、現場で役立つ知識を知ること为目标とする。国家試験合格を目指す。				
評 価 方 法		期末試験と提出物（ノート、小テスト）、授業態度を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	皮 膚 の 構 造	皮膚の表面、皮膚断面・表皮・真皮、皮下組織			
2	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ①	毛			
3	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ②	脂腺			
4	2	皮 膚 付 属 器 官 の 構 造 ③	汗腺・爪			
5	2	皮 膚 の 循 環 系 と 神 経	皮膚の血管・リンパ管・神経			
6	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ①	体外保護作用・体温調節・知覚作用と皮膚反射			
7	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ②	分泌排泄作用・呼吸作用・吸収作用			
8	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ③	貯蔵作用・免疫・解毒・排除作用			
9	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 生 理 機 能 ④	再生作用・毛のはたらき・爪のはたらき			
10	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ①	皮膚と全身状態・皮膚と精神・皮膚と栄養・皮膚と嗜好品 皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態			
11	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ②	皮膚・皮膚付属器官とホルモン・皮膚の保護と手入れ 毛の保護と手入れ			
12	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ③	爪の保護と手入れ・子供のおしゃれによる皮膚トラブル			
13	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ④	小テスト			
14	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 保 健 ④	小テスト			
15	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ①	皮膚の異常とその種類・皮膚疾患の原因・皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹			
16	2	皮 膚 と 皮 膚 付 属 器 官 の 疾 患 ②	口唇の疾患・温熱・寒冷による疾患・角化異常による皮膚疾患・色素異常による疾患・血管腫・脂腺母斑			

17	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患③	下肢静脈瘤・分泌異常による皮膚疾患・化膿菌による皮膚疾患・ウイルスによる皮膚疾患
18	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患④	真菌による皮膚疾患・衛生害虫による皮膚疾患・感染症の皮膚・疾患の予防・家と爪の疾患・皮膚の腫瘍
19	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患⑤	小テスト
20	2	まとめと復習①	まとめと復習
21	2	まとめと復習②	まとめと復習
22	2	まとめと復習③	まとめと復習
23	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目		化粧品化学			学科・学年	美容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	横橋 健
授 業 の 概 要		美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。				
教育目標 (ねらい)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師国家試験合格レベルの知識習得</li> <li>・化粧品の基本知識を習得し、その機序・危険性について認識する。</li> <li>・化粧品化学の知識・理解を深め理容・美容の専門家への道を拓く。</li> </ul>				
評 価 方 法		期末試験と授業への関心態度、提出物を評価する。 期末考査60%、授業への関心態度20%、提出物20%とし、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	スキンケア製品①	第1節 化粧品の効果と使用プロセス 第2節 クレンジング用化粧品			
2	2	スキンケア製品②	第3節 コンディショニング用化粧品			
3	2	スキンケア製品③	第4節 トリートメント用化粧品			
4	2	メイクアップ用化粧品①	メイクアップ製品の種類と剤形 ベースメイクアップ化粧品			
5	2	メイクアップ用化粧品②	ポイントメイクアップ用化粧品 アイメイクアップ、まつげケア 等			
6	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品①	シャンプー剤			
7	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品②	スタイリング剤			
8	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品③	パーマ剤①			
9	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品④	パーマ剤②			
10	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品⑤	ヘアカラー製品①			
11	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品⑥	ヘアカラー製品②			
12	2	ヘアケア、メイクアップ、スカルプケア製品⑦	スカルプケア製品			
13	2	まとめと復習①				
14	2	まとめと復習②				

15	2	まとめと復習③	
16	1	期 末 考 査	後期1時間

授 業 科 目		文化論			学科・学年	美容科 2年
開 講 期		通年	単位数	1	担当者名	加藤順子
授 業 の 概 要		美容師として必要な西洋と日本の美容の歴史を文化的な視点から学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)		美容師として必要な文化的背景と知識を習得する 国家試験合格レベルの知識を習得する				
評 価 方 法		毎回単元ごとのプリントを配布し、授業内容の確認と学びの進行状況の手掛かりとする。また、授業中の取り組み状況の確認として、プリントを集め達成度を確認をし、期末考査60%、プリント達成度20%、授業の関心度20%とし、100点満点に換算し60点以上で合格とする。				
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	2	ファッション 文化史西洋編	古代エジプト/古代ギリシャ・ローマ			
2	2	ファッション 文化史西洋編	古代ゲルマン/中世ヨーロッパ			
3	2	ファッション 文化史西洋編	近世Ⅰ			
4	2	ファッション 文化史西洋編	近世Ⅱ			
5	2	ファッション 文化史西洋編	近世Ⅲ			
6	2	ファッション 文化史西洋編	近代Ⅰ・Ⅱ			
7	2	ファッション 文化史西洋編	現代Ⅰ			
8	2	ファッション 文化史西洋編	現代Ⅱ			
9	2	ファッション 文化史西洋編	現代Ⅲ			
10	2	ファッション 文化史西洋編	現代Ⅳ			
11	2	ファッション 文化史西洋編	現代Ⅴ			
12	2	ファッション 文化史西洋編	現代Ⅵ			
13	2	礼 装 の 種 類	和装の礼装 洋装の礼装			
14	2	テ ス ト 対 策				
15	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間			

授 業 科 目	美容理論			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	2.5	担当者名	川村こずえ
授 業 の 概 要	美容の意義を十分に理解し、美容師としての基礎知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な理論を身につけ、国家試験合格レベルの理論と知識を習得する				
評 価 方 法	期末考査、授業への関心度、課題提出を評価する。 期末考査60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	2	シャンプーイング	バックシャンプーマニュアル作成
2	2	シャンプーイング	バックシャンプーマニュアル作成
3	2	シャンプーイング	バックシャンプーマニュアル作成
4	2	ヘアセッティング	ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェーピング
5	2	ヘアセッティング	ヘアカーリング、ヘアウェーピング、ローラーカーリング
6	2	ヘアセッティング	ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング
7	2	ヘアセッティング	アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	2	ヘアセッティング	マニュアル作成
9	2	ヘアセッティング	マニュアル作成
10	2	ヘアセッティング	マニュアル作成
11	2	ネ イ ル	ネイル技術理論、ネイル技術の種類、詰め構造と機能
12	2	ネ イ ル	ネイルケア、アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ
13	2	エ ス テ テ ィ ッ ク	エステティック概論、生理機能、カウンセリング
14	2	エ ス テ テ ィ ッ ク	フェイシャルケア、マッサージ
15	2	エ ス テ テ ィ ッ ク	ボディケア技術、ボディマッサージ、脱毛ケア技術
16	2	日 本 髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称 日本髪の種類と特徴
17	2	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装 着物と季節
18	2	着付けの理論と技術	着物のいろいろ 帯 小物 着物各部の名称
19	2	着付けの理論と技術	着物のたたみ方 一般的要領
20	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
21	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
22	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
23	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
24	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
25	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
26	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
27	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
28	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
29	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
30	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
31	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
32	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策

33	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
34	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
35	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
36	2	ま と め ・ 復 習	期末・国家試験対策
37	2	期 末 考 査	前期・後期各1時間

授 業 科 目	運営管理			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	通年	単位数	0.5	担当者名	熊谷 史子
授 業 の 概 要	美容業に必要な経営、マネジメントの基本的な知識を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	美容師国家試験合格レベルの知識習得。				
評 価 方 法	期末試験と授業への関心態度を評価する。 期末考査60%、提出物の評価、授業への関心態度40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	2	復 習	1年生の復習問題		
2	2	従業員としての視点 から ②	社会保険② キャリアプラン		
3	2	健康・安全な職場 環 境 の 実 現	健康管理の基礎 理容・美容の仕事と健康		
4	2	顧 客 の た め に ①	サービスデザイン		
5	2	顧 客 の た め に ②	マーケティング		
6	2	顧 客 の た め に ③	サービスにおける人の役割		
7	2	復 習 と 練 習 問 題			
8	1	期 末 考 査	期末考査前期 1時間		

授 業 科 目	美容実習			学科・学年	美容科	2年	
開 講 期	通年	単位数	15	担当者名	川村こずえ		
授 業 の 概 要	美容の基礎的技術を実習で学び、実技の奥深さを知る						
教 育 目 標 (ねらい)	美容師に必要な実技と、国家試験に必要な実技課題を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
月	シャンプー	カット	ワインディング	専科	オールウェーブ	その他	備考
4	○		○		○		
5	○		○	○	○		
6	○	○	○	○	○		
7	○	○	○	○	○		
8	○	○	○	○	○	○	カット カラーリング
9	○	○	○	○	○	○	ネイル メイク
10	○	○	○	○	○	○	
11	○	○	○	○	○	○	
12	○	○	○	○	○	○	
1	○	○	○		○		
2	○	○	○		○		
3							
合計時数	80	100	100	40	100	30	

授 業 科 目	一般教養		デッサン		学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐々木郁実	
授 業 の 概 要	人物をモチーフとしたデッサンを通して観察力と表現力を高める。						
教 育 目 標 (ねらい)	1. 観察やイメージすることに基づいたデッサンの技術を身に着ける。 2. デッサンの技術によって、造形的な表現能力の向上と、美的感性の育成を図る。						
評 価 方 法	授業への関心態度50点、提出作品（イラストボード）30点、提出物（スケッチブック）20点の合計100点満点で評価し、60点以上で合格とする。						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	デッサンの基礎①	線による表現（目隠し描きと重ね書き）				
2	3	デッサンの基礎②	トーンによる表現、12色相環				
3	3	デッサンの基礎③	人体の構造、アイディアの出し方				
4	3	デッサンの基礎④	陰影と立体感				
5	3	人 物 を 描 く ①	ヘアデザイン画（構図）				
6	3	人 物 を 描 く ②	ヘアデザイン画（背景）				
7	3	人 物 を 描 く ③	ヘアデザイン画（全体像の完成）				
8	3	人 物 を 描 く ④	ヘアデザイン画（着色）				
9	3	人 物 を 描 く ⑤	ヘアデザイン画（仕上げ）				
10	3	人 物 を 描 く ⑥	講評会				

授 業 科 目	一般教養		パーソナルカラー		学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐藤博美	
授 業 の 概 要	美容師として色彩知識・パーソナルカラーが与える色の効果を学び活用法を身に付ける						
教 育 目 標 (ねらい)	パーソナルカラーの理論的な効果から肌の見え方・印象の変化を学び、顧客に求められる色の活用法を身に付ける。色彩技能パーソナルカラー検定合格レベルの知識を習得する。						
評 価 方 法	試験、授業・グループワークの取り組み、課題・提出物を評価する。 授業の関心態度30%、課題提出40%、試験30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	3	パーソナルカラー概論	パーソナルカラーとは 色の成り立ち				
2	3	色 の 属 性	色のしくみとパーソナルカラーの要素① 肌に与える効果(ベース・明度・彩度)				
3	3	色 の 属 性 体 験 実 習	色のしくみとパーソナルカラーの要素② 肌に与える効果(清濁) 体験実習				
4	3	表 色 系 基 本 の 配 色 法	PCCS (色相環とトーン) カラーコーディネート (基本の配色法)				
5	3	基 礎 知 識	色に見える条件 4シーズン分類				
6	3	基 礎 知 識	心理効果 パーソナルカラーのまとめ				
7	3	模 擬 試 験	試験による基礎知識の確認				
8	3	検 定 試 験 対 策	モジュール1 試験対策 パーソナルカラーを基にした課題の作成①				
9	3	検 定 試 験	モジュール1 試験 パーソナルカラーを基にした課題の作成② 提出				
10	3	実 技 試 験	パーソナルカラー診断実習				

授 業 科 目	一般教養		フラワーアレンジメント	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	佐藤 淳子
授 業 の 概 要	フラワーアレンジメントを通し、豊かな感性と知識を深める。理容と美容の類似点、共通点を見出し、専門的技術を身に付ける。					
教 育 目 標 (ねらい)	植物の知識を深める。基礎から応用、多岐にわたるテーマを通し芸術への探求心を深める。					
評 価 方 法	提出される作品の評価(毎時間)。授業態度・提出物。 毎作品の評価平均点60%、授業態20%、提出物20%、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。					
授 業 計 画						
回	時間	項 目	内 容			
1	3	フラワーアレンジメントの概要	・フラワーアレンジメントの意味。授業の進め方。花材、道具取り扱い方法、注意点。①ラウンド(基礎)理論、説明。			
2	3	実 技	②トライアングュラー 花材説明(種類、産地、特徴) 図解説明			
3	3	実 技	③ホリゾント ④母の日ラッピングアレンジ			
4	3	実 技	⑤パラレル並行 ⑥交差 基礎から発展			
5	3	実 技	⑦ラウンドブーケ ブライダルについて学ぶ。 ワイヤリング、テーピング、構成についてのテクニック。			
6	3	実 技	⑧アメリカンスタイル ⑨ホビーアレンジ 構成違いのデザイン性、応用。			
7	3	実 技	⑩ラウンドブーケ パーツ複合 ワイヤリング、テーピング+リボンワーク			
8	3	実 技	⑪構造的 ⑫コラージュ テクスチュアを学ぶ			
9	3	実 技	⑬シーズンアレンジ 季節にちなんだフリーデザイン。			
10	3	実 技	⑭フリースタイルブーケ 装飾について。 まとめ、自己評価、感想			

授業科目	一般教養	アートワーク		学科・学年	美容科 2年
開講期	前期または後期	単位数	1	担当者名	ヨウル☆プッキ
授業の概要	専門技術者としての発想力、創造力、表現力の体得				
教育目標 (ねらい)	『糸と布』でものづくり。 裁・膝・縫・繕・織・絡・編・裂・繻・染				
評価方法	授業への関心態度、提出物を評価する。 授業への関心態度40%、作品内容20%、提出40%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	オリエンテーション	道具の説明、動作確認		
2	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成		
3	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成		
4	3	シルバークレイ	シルバーアクセサリー作成		
5	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍		
6	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍		
7	3	パンチニードル	バッグとハンカチにニードル刺繍		
8	3	ロークラフト	インテリア小物作成		
9	3	ロークラフト	インテリア小物作成		
10	3	ロークラフト	インテリア小物作成		

授 業 科 目	一般教養 3Dネイル			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	遠藤淳子
授 業 の 概 要	ネイルアートを身につける				
教 育 目 標 (ねらい)	立体的に見せる力と創造性を養う				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 授業への関心度40%、課題提出60%とし、総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	3 D ア ー ト	アクリルパウダーを使い花を作る		
2	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
3	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
4	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
5	3	3 D ア ー ト	ワイヤー使用、骨格形成	動物などの制作	
6	3	エンボスアート	エンボスアート		
7	3	3 D ア ー ト	作品制作		
8	3	3 D ア ー ト	作品制作		
9	3	ま と め	アート技術を組み合わせての作品製作		
10	3	ま と め	課題提出		

授 業 科 目	一般教養		スタンドグラス		学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期または後期		単位数	1	担当者名	齋藤有紀	
授 業 の 概 要	理容・美容の類似点を意識しながら、正確性を追求した製図やスタンドグラスの制作						
教 育 目 標 (ねらい)	スタンドグラス制作を通し、芸術的探究心を深め、理容美容にも通ずる、センスやオリジナル性の向上、作品を作り上げる達成感から学生たちの自己肯定感を育む。						
評 価 方 法	授業態度、提出物、制作への意欲、作品の完成度。技術評価50%、制作意欲20%、授業態度30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目		内 容			
1	3	スタンドグラスの概要説明 配布物の確認		スタンドグラスの歴史、概要、授業の進め方の説明。 個人への配布物・班ごとの配布物の確認。			
2	3	実	技	工具の説明、ガラスカットの練習。ガラスカット。			
3	3	実	技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
4	3	実	技	ルーターの使い方、ルーターがけ、カットガラスの調整、 転写紙の貼り方・作業			
5	3	実	技	カパーテープの巻き方説明、カパーテープ巻き、 はんだごての使い方・はんだ付け			
6	3	実	技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
7	3	実	技	ガラスカット、ルーターがけ、カットガラスの調整、転写紙の 貼り方、作業			
8	3	実	技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄			
9	3	実	技	カパーテープ巻き・はんだ付け、洗浄、完成			
10	3	総	括	完成作品の装飾込み発表展示、講評。自己評価、感想・レポート提出			

授 業 科 目	一般教養	ヨガ	学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名 安田里彩
授 業 の 概 要	ヨガを通して心の健康はもとより、心と身体の調和や自律神経の調整を目指していく。日頃から頑張っている自分をたっぷりと褒め、受け止める／認めてあげる時間を過ごし、より美容や利用の分野にフォーカスできる心の環境を整えていく。			
教 育 目 標 (ねらい)	内側から美しい「心と身体」を作る。 「心」「身体」「呼吸」、三位一体になったときに生まれる心の内側の変化、表面的な体の変化を体得する。			
評 価 方 法	授業への関心度、提出物で評価する。授業の関心度60%、提出物（小テスト）40%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	3	ヨ ガ の 概 要 環 境 活 動 の 概 要	ヨガについて・クラスの進め方・ビギナーヨガ マットや使用物の取り扱いについて
2	3	座 学 ・ 実 践	呼吸×ヨガ（花呼吸/腹式呼吸）
3	3	座 学 ・ 実 践	自律神経×ヨガ（交感神経/副交感神経）
4	3	座 学 ・ 実 践	マインドフルネス×ヨガ（瞑想）
5	3	座 学 ・ 実 践	フローヨガ（呼吸に動きを乗せる）
6	3	座 学 ・ 実 践	筋膜リリース×ヨガ（セルフケア）
7	3	座 学 ・ 実 践	デトックス×ヨガ（不要物の排出）
8	3	座 学 ・ 実 践	骨盤調整×ヨガ（正しい骨格へ）
9	3	座 学 ・ 実 践	伝える×ヨガ（2グループ。真理時間1時間で1つアサナを完成
10	3	座 学 ・ 実 践	オリジナルシザーケースの作成（今後もヨガが生活の中にある

授 業 科 目	一般教養 レザークラフト			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期または後期	単位数	1	担当者名	木戸崇
授 業 の 概 要	革を使用し、いろいろな作品を作成する				
教 育 目 標 (ねらい)	レーザーでいろいろなものを制作しながら創造力や造形技術を身につける				
評 価 方 法	授業への関心度、課題作品の完成度で評価する。 授業の関心度50%、作品の完成度50%とし、100点満点で換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	3	カードケース作成	レザークラフトの基本となる張り合わせ、穴あけ、縫い、仕上げの練習		
2	3	カービング	好きなデザインを用い、自分の名前をカービングする		
3	3	コインケース	縫いの正確さ、きれいさの追求		
4	3	コインケース	コインケースの仕上げ		
5	3	カードケース	カードケース作成		
6	3	カードケース	カードケース作成		
7	3	ペントレイ	今までの制作技術の復習		
8	3	シザーケース	革の裁断、カービング、縫いなどに注意し、オリジナルのシザーケースの作成		
9	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		
10	3	シザーケース	オリジナルシザーケースの作成		

授 業 科 目	専門教育	着付け	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	生島雅世子 鈴木久美子
授 業 の 概 要	美容師として必要な着付けの理論および着付け技術、礼儀作法、立ち居振る舞い等を学ぶ。				
教 育 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着付け技術と着付け理論を習得する。※希望者はSBS技能検定3級取得を目指す。</li> <li>・浴衣、留袖（二重太鼓）、中振袖（ふくら雀・文庫・立矢）、女子袴の着付けを習得する。</li> <li>・花嫁衣裳（掛下・打掛）の着付けを体験する。</li> </ul>				
評 価 方 法	実技テストおよび筆記テスト、授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト60%、授業への関心度20%、課題提出20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	着付け総論（理論）	着物および着付けについての基礎的知識の講義
2	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
3	4	着付け総論（理論）	SBSテキスト・美容技術理論2・美容実習2で講義
4	4	浴 衣	補整作り、浴衣の畳み方、小物の名称、浴衣・帯・小物の準備の仕方
5	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
6	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
7	4	浴 衣	体型補整、肌襦袢・浴衣の着付け、伊達締め締め方、帯（文庫）の結び方
8	4	浴 衣	浴衣着付け 試験通りに練習（全体のバランスや審査項目のチェック）
9	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
10	4	留 袖	留袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、留袖の着付け、伊達締め締め方
11	4	留 袖	留袖の着付け、帯結び（二重太鼓）、帯締め、帯揚げの締め方
12	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
13	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
14	4	留 袖	留袖の着付け、二重太鼓、全体のバランス
15	4	留 袖	留袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
16	4	留 袖 実 技 テ ス ト	留袖実技テスト30分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ・体型とお太鼓の調和）
17	4	中 振 袖	中振袖の畳み方、体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け
18	4	中 振 袖	体型補整、長襦袢の着付け、中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀
19	4	浴 衣	浴衣着付け総復習、試験通りに練習・筆記テスト
20	4	SBS技能検定3級試験	学科試験30分、実技準備10分、実技試験（浴衣）20分
21	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
22	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、ふくら雀、全体のバランス
23	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、文庫結び（星雲）、全体のバランス
24	4	中 振 袖	中振袖の着付け、伊達締め締め方、立矢結び（末広）、全体のバランス
25	4	中 振 袖	中振袖の着付け技術総復習、着付け技術についてのチェックテスト
26	4	中 振 袖 実 技 テ ス ト	中振袖実技テスト40分 全体のバランスチェック（襟・裾合わせ、ふくら雀の調和）
27	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
28	4	女 子 袴	袴の畳み方、体型補整、袴の着付け、全体のバランス
29	4	花 嫁 衣 裳	掛下の畳み方・体型補整・掛下の着付け（掛下帯・抱え帯・小物など）
30	4	花 嫁 衣 裳	打掛の畳み方、打掛の着付け、花嫁の立ち居振る舞い

授 業 科 目	専門教育 アップ			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	平山恵子 金野夏奈
授 業 の 概 要	美容師として、サロンで実践できる基本、応用技術習得を目的とする				
教 育 目 標 (ねらい)	基本を重点とし、時代の流れを取り入れながら、伝統的な日本髪を最終目標とする				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ア ッ プ 理 論	用具の使用方法和目的		
2	4	一 束 結 び	ゴムの結び方 ピンの止め方		
3	4	編 み 込 み	三つ編み (表・裏) 四つ編み (丸・平)		
4	4	シ ニ ョ ン	シニヨン (面・毛先の扱い方)		
5	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (表)		
6	4	編み込みスタイル	三つ編み込み (裏)		
7	4	編み込みスタイル	ツイストのスタイル		
8	4	編み込みスタイル	フィッシュボーン		
9	4	編み込みスタイル	かご編み		
10	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ すき毛の作り方		
11	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
12	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
13	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
14	4	ハ ー フ ス タ イ ル	ハーフアップ		
15	4	夜 会 巻 き	夜会巻きスタイル		
16	4	夜 会 巻 き	本夜会スタイル		
17	4	夜 会 巻 き	重ね夜会		
18	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
19	4	夜 会 巻 き	抱き込み夜会		
20	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
21	4	オリジナルスタイル	ロールシニヨン		
22	4	オリジナルスタイル	ギブソンタック		
23	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
24	4	オリジナルスタイル	ブレードスタイル		
25	4	フ リ ー ス タ イ ル	創作アップ		
26	4	日 本 髪	日本髪の練習		
27	4	日 本 髪	日本髪の練習		
28	4	日 本 髪	日本髪の練習		
29	4	日 本 髪	日本髪の練習		
30	4	日 本 髪	日本髪のテスト		

授 業 科 目	専門教育	エステ	学科・学年	美容科 2年
開 講 期	後期	単位数	4	担当者名 鈴木 元子 松本しおり
授 業 の 概 要	エステティックに関する基礎知識とエステティックの本質となる（ソワンエステ）について理解する			
教 育 目 標 (ねらい)	エステティシャンとして社会で働くうえで、基礎的な技術と心遣いを身につける			
評 価 方 法	実技テストと筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度30%、筆記試験20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする			

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	chapter 1, 2	エステティックとは・生命活動と代謝
2	4	chapter 3	身体のしくみと働きⅠ
3	4	chapter 4, 5	身体のしくみと働きⅡ・皮膚の仕組みと働きⅠ①
4	4	chapter 6	皮膚のしくみと働きⅠ②
5	4	chapter 7, 8	エステティックとカウンセリング・化粧の種類と働き
6	4	chapter 9, 10	栄養の知識・エステティックにおける衛生と消毒
7	4	chapter 11, 12	エステティックの基礎知識・ボディエステティックの基礎知識
8	4	chapter 13, エステ機器	フェイシャルエステティックの基礎知識・機器の取り扱い事前準備
9	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フリマツール・ウットランプ・アロミスト・ヴァックススプレイ①
10	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ①
11	4	フェイシャルトリートメント	フリマツール・アロミスト・ヴァックススプレイ・パター・仕上げ②
12	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ①
13	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・アロミスト・アイオノス・パック・仕上げ②
14	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ①
15	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・パター・パック・ペルチェ・仕上げ②
16	4	フェイシャルトリートメント	カルテ記入・カウンセリング・フェイシャルトリートメント①
17	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ①
18	4	フェイシャルトリートメント	クレンジング・フェイシャルマッサージ・パック・仕上げ②
19	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・普通肌
20	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・乾燥肌
21	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・シミ肌
22	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・敏感肌
23	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・脂性肌
24	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント・ニキビ肌
25	4	フェイシャルトリートメント	肌別フェイシャルトリートメント
26	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
27	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
28	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
29	4	ボディトリートメント	ボディマッサージ
30	4	ボディトリートメント	ボディトリートメント

授 業 科 目	専門教育	フォト&カット		学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋卓希・菊地恵美
授 業 の 概 要	ベーシックカット、デザインカットの知識 フォトコン作品作り、及びフォトテクニックを学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	基礎知識を習得する。 身につけた技能をサロンワークに活用できるようにする。				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
2	4	実 習 準 備	シザーの持ち方、開閉、姿勢、ブローの練習
3	4	実 習 準 備	フォトコンテストに向けスタイル画作成、メイク、小物準備について
4	4	実 習 準 備	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
5	4	ワ ン レ ン グ ス	ワンレングス復習、ブロー
6	4	グラデーションボブ	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
7	4	グラデーションボブ	グラデーションボブの復習、応用 レザー 仕上げ
8	4	マッシュルームカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
9	4	マッシュルームカット	マッシュルームカット復習、応用 レザー 仕上げ
10	4	レ イ ヤ ー	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
11	4	レ イ ヤ ー	レイヤーカット復習、応用 レザー アイロン
12	4	2セクションカット	展開図に沿ったカット、パネルの引き出し方、スライス、角度、姿勢を学ぶ
13	4	2セクションカット	2セクションカット復習、応用 レザー 仕上げ
14	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット
15	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ
16	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
17	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向け製図作成、ベースカット、ブリーチ、メイクの方法
18	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
19	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ練習
20	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
21	4	フォトコンテスト作品	フォトコン作品、仕上げカット、メイク、ブロー、アイロン仕上げ
22	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
23	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
24	4	フォトコンテスト作品	出来上がった作品の撮影技術を学び、カメラによる撮影を行う
25	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
26	4	フォトコンテスト作品	写真を印刷し、テーマや、応募書類を作成する
27	4	フォトコンテスト作品	フォトコンテストに向けた、準備、作業工程、結果のまとめ
28	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の5パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
29	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の6パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ
30	4	カ ッ ト 総 復 習	基本の7パターンのカットの総復習と、応用編のアレンジカットを学ぶ

授 業 科 目	専門教育			ネイル	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	遠藤淳子・小野由羽	
授 業 の 概 要	ネイルの基本技術と知識を学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	ジェルネイル(初級)に向けて、ネイル技術と知識を身に付ける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、総合計60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	実 習 準 備	ネイル実習に入るための用具・用材の準備				
2	4	ネ イ ル 基 礎 理 論	ネイルの歴史・爪の構造				
3	4	ネ イ ル 実 習	テーブルセッティング・爪の形・ファイリング(チップ使用)				
4	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケアの基礎技術(消毒・ファイリング・キュティクルクリーム)				
5	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	理論小テスト・ネイルケア基礎技術(プッシャーの扱い方)				
6	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(キュティクルニッパーを持つ・ガーゼクリーン・ルースキュティクル除去)				
7	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)				
8	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(消毒からネイルケア)				
9	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)				
10	4	ネ イ ル 実 習	ポリッシュカラーリング(水分や油分除去・ベースコート・ポリッシュ・トップコート塗布)				
11	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア基礎技術(タイム35分)・カラーリング塗布				
12	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング				
13	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング				
14	4	ネ イ ル 実 習	ジェルカラーリング・ジェルアート				
15	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	ネイル理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート				
16	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート				
17	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート				
18	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート				
19	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート				
20	4	ネ イ ル 実 習	ネイルケア・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート				
21	4	ネ イ ル 実 習	ジェルネイル(初級)試験に適応した技術テスト				
22	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)				
23	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)				
24	4	ネ イ ル 実 習	理論小テスト・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)				
25	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)				
26	4	ネ イ ル 実 習	検定試験に向けて、ネイルケア(35分)・ポリッシュカラーリング・ジェルカラーリング・ジェルアート(60分)				
27	4	ネ イ ル 理 論 ・ 実 習	検定試験対策テスト・ジェルアート技術				
28	4	ネ イ ル 実 習	フラットアート・ジェルアート				
29	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート				
30	4	課 題 作 品 制 作	フラットアート・ジェルアート				

授 業 科 目	専門教育	カラーリング	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	白畑亨・川村こずえ
授 業 の 概 要	美容師として必須のカラーリング技術を基本から応用まで学ぶ				
教 育 目 標 (ねらい)	カラーリングの基礎技術を学び、薬剤の知識を身につけることにより、就職後のサロンワークに役立つ技術を身につける				
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする				

## 授 業 計 画

回	時間	項 目	内 容
1	4	実 習 準 備	ウィッグカット
2	4	実 習 準 備	ウィッグカット
3	4	ソリッドカラー技術	正しい姿勢ハケの使い方など塗布の基本技術
4	4	ウィービング技術	ホイルワークなどの基礎技術
5	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
6	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
7	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
8	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
9	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
10	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
11	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
12	4	グ ル ー プ 学 習	トラブルの多いカラーリング検証(毛束学習)
13	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング(体験入学会)
14	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
15	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
16	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
17	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
18	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
19	4	カラーリング実習	ソリッドカラー、ウィービング
20	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
21	4	実 技 テ ス ト	ソリッドカラー、ウィービング
22	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
23	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
24	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
25	4	カ ウ ン セ リ ン グ	相モデルカラーリング準備
26	4	ト リ ー ト メ ン ト	相モデルのための髪質改善
27	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
28	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
29	4	相 モ デ ル 技 術	相モデルカラーリング
30	4	実 技 テ ス ト	サロンワークについて、撮影、写真加工デモ

授 業 科 目	専門教育			メイク	学科・学年	美容科	2年
開 講 期	前期及び後期		単位数	4	担当者名	橋浦志帆・櫻井江利子	
授 業 の 概 要	美容師として必須のメイク技術を基本から応用まで学ぶ						
教 育 目 標 (ねらい)	スキンケアからバリエーションなどメイクアップの知識を身につける まつ毛エクステンションにおける衛生と目のパーツにて装着を行なう技術を身につける						
評 価 方 法	実技テストと授業への関心度、課題提出を評価する。 実技テスト50%、授業への関心度20%、課題提出30%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする						
授 業 計 画							
回	時間	項 目	内 容				
1	4	メイクアップ理論	道具の使用方法 目的と効果				
2	4	メイクアップ理論	スキンケアの役割 メイクアップの要素				
3	4	マ ッ サ ー ジ	オイル塗布 乳化 拭き取り				
4	4	ベースメイク	ローション、クリーム、ベース、コンシーラー				
5	4	ポイントメイク	ファンデーション、ポイントメイク、クレンジング				
6	4	ナチュラルメイク	ベースメイク、アイメイク、チーク、リップ				
7	4	バリエーションメイク	キュートメイク				
8	4	バリエーションメイク	クールメイク				
9	4	バリエーションメイク	和装メイク				
10	4	バリエーションメイク	韓国人メイク				
11	4	バリエーションメイク	ブライダルメイク				
12	4	バリエーションメイク	ゴージャスメイク				
13	4	筆 記 試 験	UTOWAテスト		三善テスト		
14	4	実 技 試 験	ナチュラルメイク チェンジメイク				
15	4	特 殊 メ イ ク	傷メイク				
16	4	特 殊 メ イ ク	ガイコツメイク				
17	4	特 殊 メ イ ク	エイジメイク				
18	4	特 殊 メ イ ク	ハロウィンメイク				
19	4	特 殊 メ イ ク	マリリン・モンローメイク				
20	4	特 殊 メ イ ク	オードリー・ヘップバーンメイク				
21	4	ス テ ー ジ メ イ ク	舞妓メイク				
22	4	ス テ ー ジ メ イ ク	宝塚メイク				
23	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ピエロメイク				
24	4	ス テ ー ジ メ イ ク	歌舞伎メイク				
25	4	ス テ ー ジ メ イ ク	ドールメイク				
26	4	ス テ ー ジ メ イ ク	キャッツメイク				
27	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (花)				
28	4	エ ア ー ブ ラ シ	タトゥー (蝶)				
29	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				
30	4	エ ア ー ブ ラ シ	切り絵 (自主制作)				

授 業 科 目	専門教育 クリエイティブセット			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	杉本智亜樹・後藤和幸
授 業 の 概 要	主にドライヤーを使用してのセットを中心にし、まとめ髪まで対応。				
教 育 目 標 (ねらい)	セットの基本となるスタイルを習得する。 総合的なクオリティーを向上させ、トータル技術を身につける。				
評 価 方 法	1、作品の仕上がり評価（バランス、課題の表現ができているか等）50% 2、授業への取り組み評価（授業態度、取り組みの姿勢）50% 総合計60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	ドライヤーセット	セットに関する知識全般。		
2	4	ドライヤーセット	クラシカルバックスタイルを目標に、各セクションごとにトレーニング		
3	4	ドライヤーセット	後頭部～クラウンのボリュームの出し方		
4	4	ドライヤーセット	トップ～フロントのボリュームや、抑える技術の実習		
5	4	ドライヤーセット	ボリュームを出す技術の実習		
6	4	ドライヤーセット	サイドの毛流れの理解、コーナー部分のボリュームの出し方とつながり		
7	4	ドライヤーセット	各セクションの復習		
8	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
9	4	ドライヤーセット	全体を通してスタイルを作成		
10	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
11	4	ドライヤーセット	タイムを定め、スタイルを作成		
12	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング①		
13	4	ワンレングス	レディースウィッグを使用し、プロートレーニング②		
14	4	レイヤー	レイヤースタイルをカットし、実際にセット①		
15	4	レイヤー	ロールブラシを使用し、操作方法確認		
16	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース①		
17	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 レディース②		
18	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ①		
19	4	パーマメントセット	パーマメントウェーブを実際につけ、スタイルを作成 メンズ②		
20	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ①		
21	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ②		
22	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ③		
23	4	まとめ髪	編み込み等を含め、数スタイルを学ぶ④		
24	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識①		
25	4	ヘアデザイン	カラーリングなど、デザインするために必要な知識②		
26	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
27	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
28	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
29	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		
30	4	ヘアデザイン	自分でヘアデザインし、カット・セット技術を確認。ヘアカラーを含め、自分の創造力を高める		

授 業 科 目	専門教育 トータルテクニク			学科・学年	美容科 2年
開 講 期	前期及び後期	単位数	4	担当者名	高橋敏樹 川村重夫
授 業 の 概 要	基礎から実践的な適応力を身に付ける。また、コンテスト上位入賞を目的とした技術も習得していく。				
教 育 目 標 (ねらい)	コンテスト上位入賞を目的とした技術の習得。 職人、アート、トレンドの視点から総合力の高い技術を身につける。				
評 価 方 法	課題のクリアを毎時間記録、授業最終日の試験と出欠状況、授業の関心態度を評価する。 試験60%、授業への関心態度40%、とし総合計60点以上で合格とする				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	カラーリング	カラーチャート造り ブリーチ（常温・加温）		
2	4	カラーリング	カラーチャート造り アルカリカラーバージョン（アンダーカラー4種）		
3	4	カラーリング	カラーチャート造り マニキュアバージョン（アンダーカラー4種）		
4	4	カラーリング	塗布の練習		
5	4	ワンレングスカット	ワンレングスをカット ハーフアップ評価		
6	4	ワンレングスブロー	ブロー アイロン操作		
7	4	ロングレイヤー	ロングのレイヤーカット デンマンブラシセット		
8	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ		
9	4	〃 ショート	レザーカット アイロン仕上げ		
10	4	〃	カラー（ブリーチ・ウィービング）		
11	4	〃	カラー（アルカリカラー・スライジング）		
12	4	レイヤーボブ	レイヤーボブカット セット コンテスト創作		
13	4	フェード（刈り上げ）	ジェットモヒカン ソフトモヒカン		
14	4	〃	7：3フェード		
15	4	アップスタイル	編み込み コーンロウ スタイル造り		
16	4	ワンレングスカット	ストレート用に薬液処理		
17	4	メンズマッシュフェード	フェードカット セット		
18	4	レイヤーボブ	レイヤーボブにブリーチを入れる コンテスト創作		
19	4	ストレートパーマ	DVD学習 アイロン操作 実際に薬液処理		
20	4	グラデーションボブ	グラデーションをカット アイロン仕上げ		
21	4	レイヤーボブカラー	メンズマッシュ レイヤーボブ カラー コンテスト創作		
22	4	ジェンダーレスカット	マッシュ 刈り上げ等		
23	4	ツイストパーマ	アルミホイルを使ったパーマ 薬液処理		
24	4	ショートレイヤー	ショートのレイヤーカット		
25	4	メンズ・レディース創作発表	コンテスト創作 10：30～タイムコンテスト評価		
26	4	フリースタイル	ウィッグを観て同じように作成		
27	4	〃	カット・カラー調整		
28	4	〃	カット・カラー調整		
29	4	〃	編み込み・ツンツン練習		
30	4	〃	フリーでテスト11：10～12：00評価 まとめ		

授 業 科 目	専門教育 まつ毛エクステンション			学科・学年	美 容 科
開 講 期	前期	単位数	4	担当者名	星歩 松本しおり
授 業 の 概 要	まつ毛エクステンションの基礎知識と安全に配慮した技術者としての心構えを理解する				
教 育 目 標 (ねらい)	アイリストとして社会で働くうえでの基礎知識と技術を身につける				
評 価 方 法	実技試験と筆記試験、授業への関心度を評価する。 実技試験60%、筆記試験20%、授業への関心度(課題提出)20%とし、100点満点に換算し、60点以上で合格とする。				
授 業 計 画					
回	時間	項 目	内 容		
1	4	理論	序章 まつ毛エクステンションとは		
2	4	理論	第1章 まつ毛エクステンションの用具		
3	4	理論	第2章 衛生管理		
4	4	理論	第3章 保健		
5	4	理論	第4章 カウンセリング		
6	4	理論	第5章 まつ毛エクステンション技術①		
7	4	理論	第5章 まつ毛エクステンション技術②		
8	4	理論	理論まとめ・筆記試験		
9	4	実習	ワゴンセッティング		
10	4	実習	テーピング		
11	4	実習	まつ毛のかき分け・ツイザーの使用方法		
12	4	実習	エクステンションのつかみ方(バルク・シート)		
13	4	実習	グルーの使用方法・ブローアの使用法		
14	4	実習	リムービング		
15	4	実習	エクステンションの装着練習(Jカール)		
16	4	実習	エクステンションの装着練習(Cカール)		
17	4	実習	エクステンションの装着練習(Dカール)		
18	4	実習	デザインの基礎(キュート)		
19	4	実習	デザインの基礎(セクシー)		
20	4	実習	デザインの基礎(ゴージャス)		
21	4	実習	デザインの応用		
22	4	実習	デザインの応用		
23	4	実習	デザインの応用		
24	4	実習	デザインの応用		
25	4	実習	実技まとめ・実技テスト		
26	4	実習	テープワーク(相モデル)		
27	4	実習	アイシャンプー(相モデル)		
28	4	実習	リラクゼーション・アロマ		
29	4	実習	リラクゼーション・アロマ		
30	4	実習	リラクゼーション・アロマ		